



きよた幼稚園

KIYOTA YOUCHIEN



令和6年度保護者アンケート報告書 (詳細版)

詳細版には、「保護者アンケート」及び「教職員アンケート」に寄せられたすべての回答を氏名を伏せて記載しております。

令和6年度きよた幼稚園の教育（学校経営案）	1
保護者アンケート回答の状況	2
令和6年度保護者アンケートの集計結果	3
【教育目標と目指す子どもの姿】 お子さまは、この幼稚園での生活を通して、成長していると感じられることがありますか	4
【個に応じた教育の充実】 幼稚園の教職員は、お子さまのことをよく理解して保育していますか 幼稚園の教職員は、保護者の方からの電話や相談等に対して、適切に対応していますか	6
【魅力ある教育の創造】 お子さまは、幼稚園での日々の保育活動や行事を喜んでいますか	8
【安心・安全な教育環境】 幼稚園は、災害や事件・事故、感染症の予防などに対して、安全な環境づくりに取り組んでいますか	10
【地域連携と情報発信】 幼稚園は、保護者や地域の方にお便りやメール、ホームページ、ドキュメンテーション、ポートフォリオ、Instagram等で、分かりやすく園の情報を伝えていますか	12
きよた幼稚園の良いところがありましたらお書きください	15
きよた幼稚園のもっと良くしたいところ、改善すべきところがありましたらお書きください	20
令和6年度教職員アンケート報告書	26
教職員アンケートの集計結果から	27
学校教育目標〔豊かな心づくり〕 やさしく思いやりのある子ども	28
学校教育目標〔たくましい体づくり〕 あきらめずに取り組むたくましく健康な体	29
学校教育目標〔あたたかな仲間づくり〕 みんなと活動することを通して協力できる	30
目指す子どもの姿〔のびのびとあそびまなぶ〕 自ら主体的に夢中になって遊び、充実感や達成感を味わう	31
経営の重点〔個に応じた教育の充実〕 園児一人一人を大切に、のびのびと活動できる幼稚園	33
経営の重点〔魅力ある教育の創造〕 発達段階・特性を見通した計画的で楽しい保育実践	35
経営の重点〔安心・安全な教育環境〕 安全で教育環境の整った園づくり	37
経営の重点〔地域連携と情報発信〕 地域から信頼される園づくり	39
経営の重点〔働き方改革の推進〕 互いに尊重し合い意欲的に仕事ができる園づくり	41
幼稚園のストロングポイント	43
幼稚園のウィークポイント	46

令和6年度きよた幼稚園の教育

○ 幼児の健全な発育に貢献する ○ 地域の教育・文化に寄与する
初代理事長長岡武夫が本園創立の際に定めた開設の理念です

建学の精神

教育目標

幼稚園創立以来の教育目標です

ゆたかな心づくり

やさしく思いやりがある
心豊かな子ども

あたたかな仲間づくり

みんなと活動すること
を通して協力できる子ども

たくましい体づくり

あきらめずに取り組む
たくましく健康な体の子ども

目指す子どもの姿

温かな人間関係の輪を広げ遊びを通して
「知」「徳」「体」の総合的な成長を
促していきたい

のびのびと
あそびまなぶ



経営の重点

教育目標、目指す子どもの姿を
具体化するために、今年度力
を入れることです。

継承と創造

従来のきよた幼稚園の教育活動を見直し、認定こども園として今後も
存続・発展させるべきものを継承するとともに、これからの新しい認定こども園

《きよた幼稚園の新たな歴史をつくる》きよた幼稚園の教育を創造する一年とする

個に応じた教育の充実

- 園児一人一人を大切に
し、のびのび活動できる
幼稚園
- 個に応じた指導や支援の
充実

魅力ある教育の創造

- 幼児の発達段階、特性や
思いを捉え「のびのび
とあそびまなぶ」を具現
化する保育実践を行う幼
稚園

安心・安全な教育環境

- 園周辺の豊かな自然を生
かし、安全で教育環境の
整った園づくりに努める
幼稚園
- 安全な環境づくりの推進

地域連携と情報発信

- 園・幼稚園・家庭・地域
と連携を深め、地域から
信頼される園づくりに努
める幼稚園
- 情報発信・学校評価の充実

働き方改革の推進

- 園教職員が互いに尊重し
合い、意欲的に仕事がで
きる園づくりに努める幼
稚園
- 働き方改革の推進

教職員としての心構えです

好意に満ちた言葉がけ

素早く誠意をもって対応

情報の共有と合意形成

目配り・気配り・心配り

行動指針

教職員の行動指針です

子どもの命と人権を守る

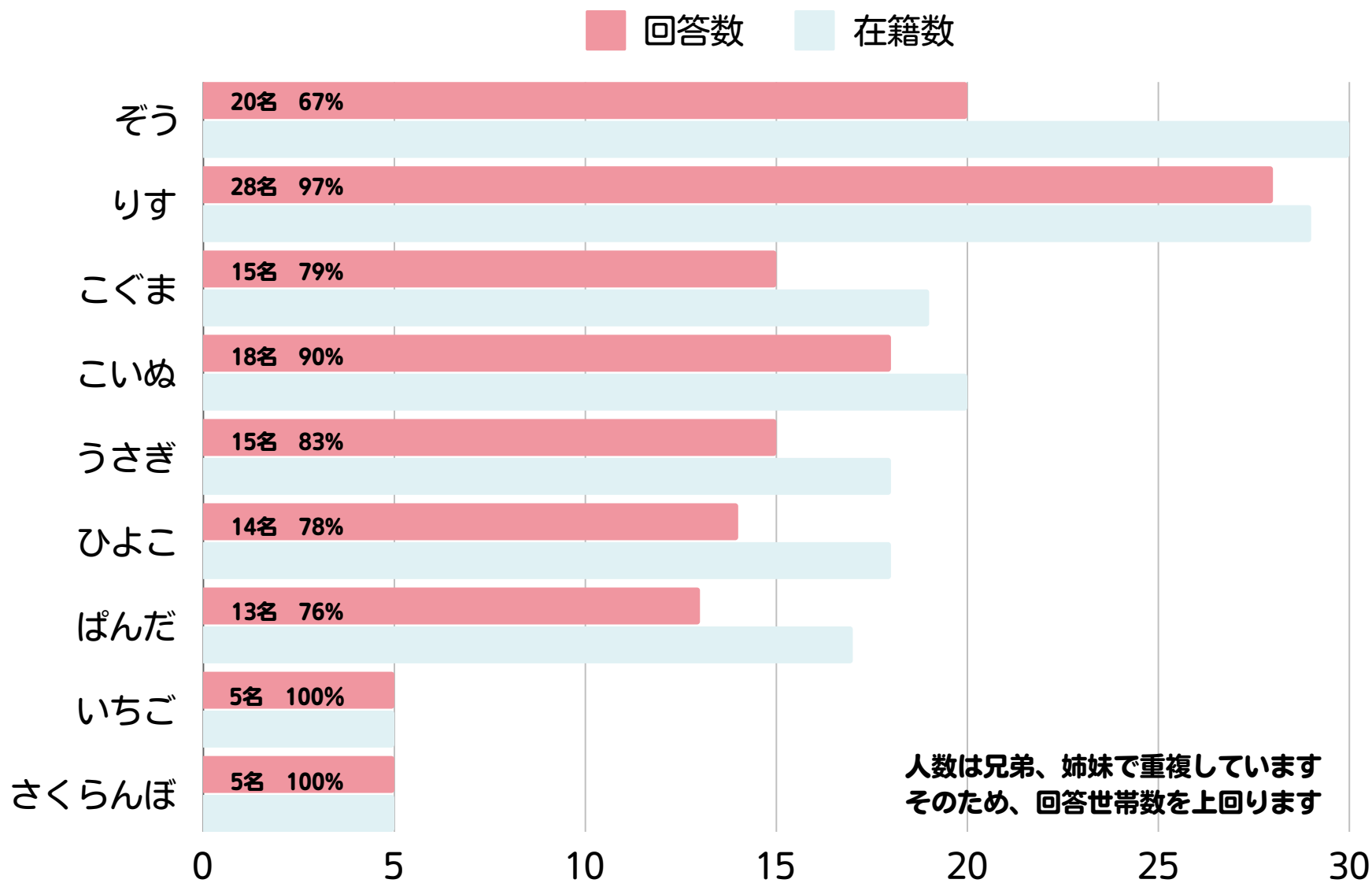
子どもたち一人一人がかげがえのない存在

学校評価は、この学校経営案の
「教育目標」・「目指す子どもの姿」
「経営の重点」の達成について
回答を求めました。



保護者アンケート回答の状況

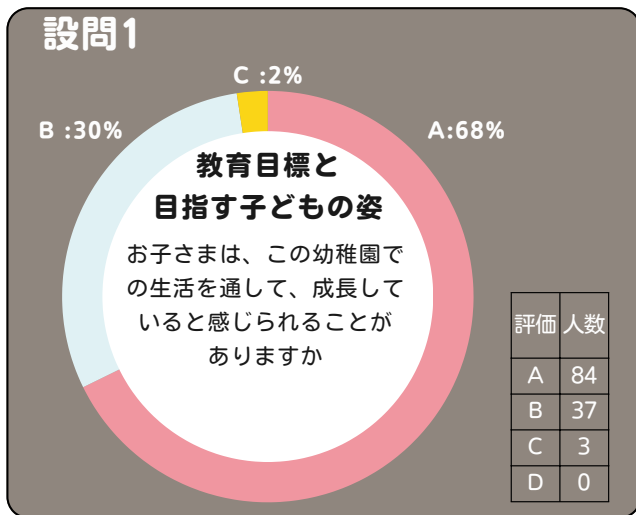
回答保護者世帯 124 全世帯数 148 回答割合 84%



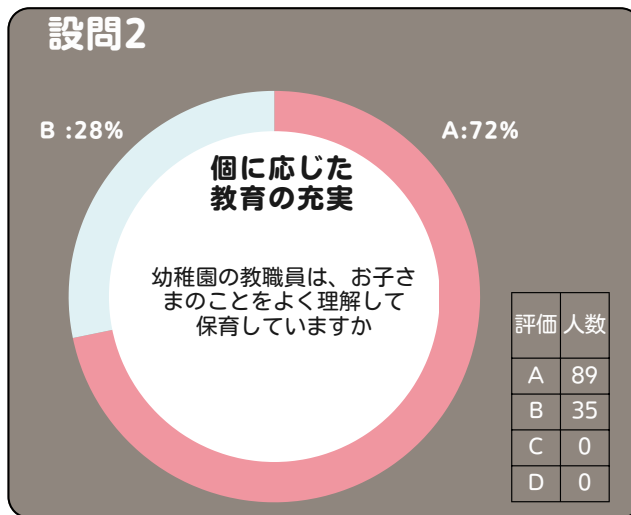
人数は兄弟、姉妹で重複しています
そのため、回答世帯数を上回ります



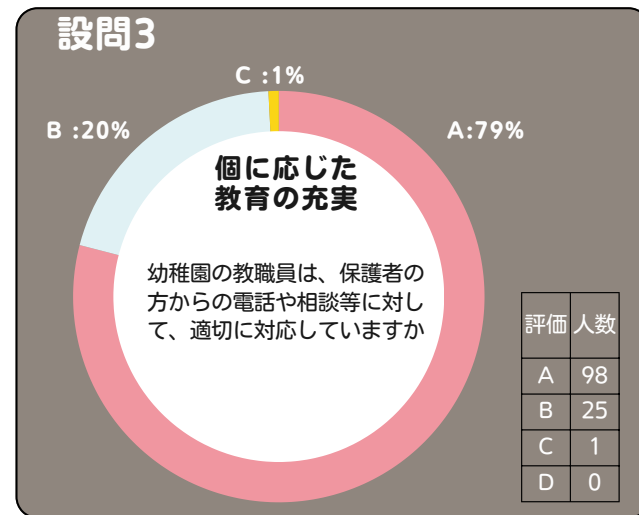
令和6年度保護者アンケートの集計結果



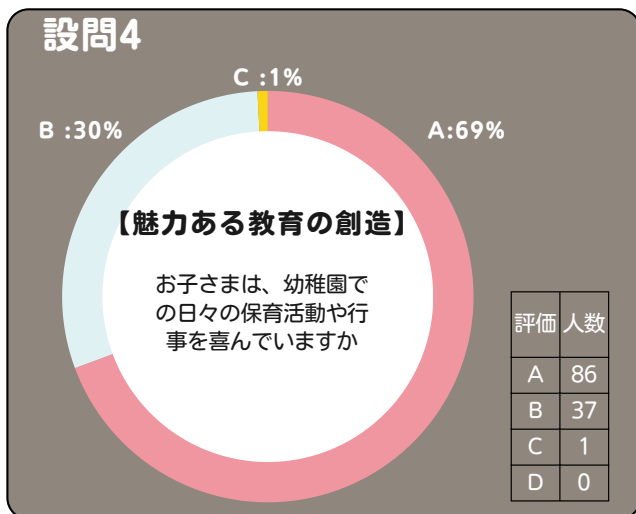
他者への配慮や協調性、言語理解および表現力、挑戦する意欲、身体能力、器用さなど、幼稚園生活を通じてお子様が示した成長を、保護者の皆様も実感されているようです。



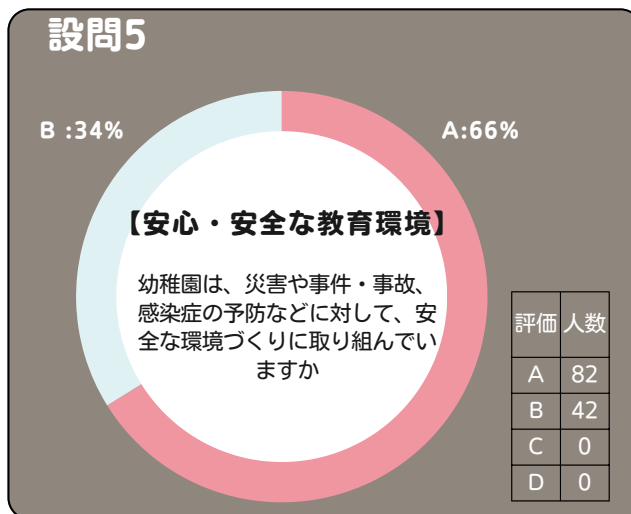
「担任の先生だけでなく、他の教師も子どもや保護者のことを覚えており、園全体でのサポートを感じられる」といった意見が多く寄せられました。



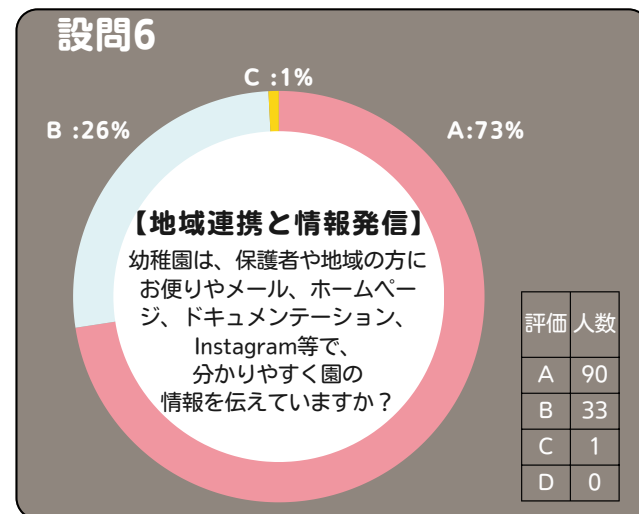
「保護者の相談に対し丁寧に対応し、時間を惜しまずに対応してくれること、また定期的に園での子どもたちの様子を報告してくれるため、保護者も安心できる」といった意見が多く寄せられました。



「子どもたちの希望を取り入れたり、活動を工夫しているため、子どもたちは主体的に参加し、満足感を得ている」という意見など、幼稚園での活動や行事に対して子どもたちが喜びを感じているという意見が多く寄せられました。



「避難訓練・安全教育: 定期的な避難訓練が行われ、「おはしも」のルールが子どもたちに浸透している」等、概ね良い意見をいただきましたが、不審者対応、工事期間の安全管理等などへのご指摘もありました。



地域連携や情報発信に関して、概ね良い意見をいただきました。認定こども園移行に関する情報提供やドキュメンテーションの更新頻度に関するご要望もいただきました。



1

お子さまは、この幼稚園での生活を通して、成長していると感じられることがありますか



1	<ul style="list-style-type: none"> 下の子への接し方や声のかけ方が優しくったり、できないことを助けてあげたり、何か出来るようになったことがあると一緒に喜んでくれる。 3歳クラスでは、仲間意識ができていて友達をととても大切にしている発言が聞かれる。
2	<ul style="list-style-type: none"> 人の意見を聞くようになった。色々な人がいてそれぞれ考え方が違うと知ったように思います。
3	<ul style="list-style-type: none"> 毎日砂だらけになって帰ってくるので、たくさん遊びこんでいるなど感じています。
4	<ul style="list-style-type: none"> 年長クラスになってから、縄跳び練習にととても意欲的に取り組んでいると感じています。継続的に取り組み、悔しい思いもしながら今までできなかったことができるようになった達成感や満足感を日々感じていて心も体も成長していると感じています。
5	<ul style="list-style-type: none"> 物事に対し考える力が、成長するにつれて柔軟になっています。
6	<ul style="list-style-type: none"> 語彙が増えたり、コミュニケーションがとれるようになったりと、たくさん成長していると日々感じております。
7	<ul style="list-style-type: none"> 家で会話の内容や行動、行事などで成長を感じます。いつの間にかできるようになったの！その言葉を知ってるんだね！など言うことがあり、幼稚園で色々学んでいると思います。
8	<ul style="list-style-type: none"> 体を動かすことが以前よりも上手になりました。また、お当番が始まりどんなお手伝いをするのか話してくれるなど、責任感も芽生えたのかなと感じます。
9	<ul style="list-style-type: none"> お友達の行動を見て、どうやったら自分もできるかを遊びの中で考えるようになってきました。
10	<ul style="list-style-type: none"> 行事や日々の活動でも担任の先生が子ども性格や気持ちを考えて接してくれているので、本人も少しずつ自信に繋がっているようです。 年長は気持ちを大切にするというお話がありました。自分の気持ちを大切にしているという姿も感じられるようになりました。
11	<ul style="list-style-type: none"> 子どものペースに合わせ、かつ輪の中で協調しながら物事に取り組むことを身につけてさせていただき、感謝しています。
12	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園で行ったり、作ったものを家でも作ろうとする事が多いです。一人で集中して取り組む時間が増えました。
13	<ul style="list-style-type: none"> お休みの日も幼稚園に行く気満々で、いつも楽しみにしています。
14	<ul style="list-style-type: none"> 毎日先生の真似、幼稚園ごっこをしない日はありません。そのときばかりは随分としっかりしていて、先生への憧れ、幼稚園の楽しさを感じることがよくわかります。一年前に比べて日常生活、動作、言葉の理解と表現力、人への興味・関心、遊びの広がり、運動能力が大きく成長しました。1日のほとんどを幼稚園で過ごしているので、影響はととても大きいと思います。
15	<ul style="list-style-type: none"> お友達と集団行動をする中で、一緒に遊んだり、時には喧嘩しながら、人との関わりを学んでいるなどと思います。



16	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園でやったことをよく話すようになりました。 		
17	<ul style="list-style-type: none"> 日々、お友達との関わりをはじめ、心身ともに成長を感じます。 		
18	<ul style="list-style-type: none"> LaQをやるようになったからか手先が器用になりました。 <p>※『LaQとは』=小さなパーツを組み合わせて立体や平面の形を自由に作れるのが特徴の知育ブロック玩具です。当園では、年長の教室にあり、いつでも子どもたちが遊ぶことができますようにしています。</p>		
要約	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> 他者への配慮と協調性 <ul style="list-style-type: none"> 友達を大切にし、他者の意見を聞く姿勢が芽生えた。 下の子や友達への優しさや助け合いの姿勢が見られる。 集団行動の中で協調し、仲間意識が育っている。 挑戦意欲 <ul style="list-style-type: none"> 縄跳びなどの活動に意欲的に取り組み、達成感を得ている。 できなかったことができるようになることに喜びを感じ、自信がついている。 自己表現と責任感 <ul style="list-style-type: none"> 言葉の理解と表現力が向上し、語彙も増えている。 当番や家庭での手伝いに対して責任感を持つようになった。 </td> <td style="vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> 身体能力と器用さの向上 <ul style="list-style-type: none"> 運動能力や手先の器用さが向上し、活動的に過ごしている。 LaQや砂遊びを通して集中力や細かい作業ができるようになっていく。 幼稚園の影響と家庭への反映 <ul style="list-style-type: none"> 幼稚園での経験を家でも話し、やろうとしている。 家での会話や行動にも幼稚園で学んだことが現れている。 感情表現と内面的成長 <ul style="list-style-type: none"> 自分の気持ちを大切にし、心の成長が見られる。 先生への憧れや幼稚園生活への楽しみが日常生活にも現れている。 </td> </tr> </table>	<ol style="list-style-type: none"> 他者への配慮と協調性 <ul style="list-style-type: none"> 友達を大切にし、他者の意見を聞く姿勢が芽生えた。 下の子や友達への優しさや助け合いの姿勢が見られる。 集団行動の中で協調し、仲間意識が育っている。 挑戦意欲 <ul style="list-style-type: none"> 縄跳びなどの活動に意欲的に取り組み、達成感を得ている。 できなかったことができるようになることに喜びを感じ、自信がついている。 自己表現と責任感 <ul style="list-style-type: none"> 言葉の理解と表現力が向上し、語彙も増えている。 当番や家庭での手伝いに対して責任感を持つようになった。 	<ol style="list-style-type: none"> 身体能力と器用さの向上 <ul style="list-style-type: none"> 運動能力や手先の器用さが向上し、活動的に過ごしている。 LaQや砂遊びを通して集中力や細かい作業ができるようになっていく。 幼稚園の影響と家庭への反映 <ul style="list-style-type: none"> 幼稚園での経験を家でも話し、やろうとしている。 家での会話や行動にも幼稚園で学んだことが現れている。 感情表現と内面的成長 <ul style="list-style-type: none"> 自分の気持ちを大切にし、心の成長が見られる。 先生への憧れや幼稚園生活への楽しみが日常生活にも現れている。
<ol style="list-style-type: none"> 他者への配慮と協調性 <ul style="list-style-type: none"> 友達を大切にし、他者の意見を聞く姿勢が芽生えた。 下の子や友達への優しさや助け合いの姿勢が見られる。 集団行動の中で協調し、仲間意識が育っている。 挑戦意欲 <ul style="list-style-type: none"> 縄跳びなどの活動に意欲的に取り組み、達成感を得ている。 できなかったことができるようになることに喜びを感じ、自信がついている。 自己表現と責任感 <ul style="list-style-type: none"> 言葉の理解と表現力が向上し、語彙も増えている。 当番や家庭での手伝いに対して責任感を持つようになった。 	<ol style="list-style-type: none"> 身体能力と器用さの向上 <ul style="list-style-type: none"> 運動能力や手先の器用さが向上し、活動的に過ごしている。 LaQや砂遊びを通して集中力や細かい作業ができるようになっていく。 幼稚園の影響と家庭への反映 <ul style="list-style-type: none"> 幼稚園での経験を家でも話し、やろうとしている。 家での会話や行動にも幼稚園で学んだことが現れている。 感情表現と内面的成長 <ul style="list-style-type: none"> 自分の気持ちを大切にし、心の成長が見られる。 先生への憧れや幼稚園生活への楽しみが日常生活にも現れている。 		

《幼稚園から》

- 他者への配慮や協調性、言語理解および表現力、挑戦する意欲、身体能力、器用さなど、幼稚園生活を通じてお子様が示した成長について、保護者の皆様も実感されているようです。
- 当園では、今後も子どもたち一人一人が自ら気付き、感じ、理解し、できることを増やしていけるように、また、友達とのコミュニケーションを通じて協力し合いながら活動できるような保育を大切に、これからも継続していきたいと考えております。



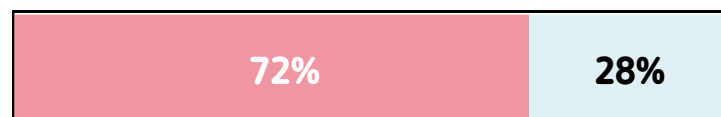
保護者アンケート

【個に応じた教育の充実】

2

幼稚園の教職員は、お子さまのことをよく理解して保育していますか

■ A ■ B ■ C ■ D



【個に応じた教育の充実】

3

幼稚園の教職員は、保護者の方からの電話や相談等に対して、適切に対応していますか

■ A ■ B ■ C ■ D



1	・ほとんどの先生はとても良く対応してくれていていつも感謝しています。少し気になるところがあるので、また相談したいと思っています。
2	・連絡をいただいた時にはこちらからの質問にも答えてくださり、よく見ていただいていると感じています。
3	・日々の子どもの様子はもちろん、頑張っている姿やお友達とのかかわりなど、よくお話ししてもらっているので、子どもの性格をとても理解して声掛けや働きかけをしてもらっていると感じています。 ・また子どもが担任の先生が大好きで会うことを毎日楽しみにしていることが家での会話の中でもよく伝わってくるので、安心して日々幼稚園へ送り出すことができます。
4	・担任の先生は入園前や入園後にお話したちょっとした気になることを覚えていてくださって、その後どんな様子なのかなど教えていただけるのでとても安心します。子どもも先生を信頼している様子です。園に電話をかけるとどの先生もスムーズに対応していただけるので心強いです。
5	・こちらが電話をもらっている時のほうが多く、様子を教えていただいています。お忙しいのにすみません。
6	・どの先生もよく理解してく下さり、常に適切に対応してくださっています。
7	・最近では就学についての相談をさせていただきました。お忙しい中時間を作っていただき、本当に感謝しております。
8	・昨年の担任の先生に相談したことを、そのときも丁寧に様子を教えていただきましたが、今年の担任の先生に引き継ぎもされていて、今年の子どもの様子を教えてもらうことが出来て感謝しています。
9	・ちょっとした質問、誰に聞いても答えることができているすごいと思います。
10	・担任の先生は子どものことをよく理解して、いいところは褒めて、苦手なことは無理なくできる範囲で頑張れるよう促してくれていると思います。先生が温かく見守ってくれているので、幼稚園では苦手なことも頑張れているのだと思います。子どもが褒められたと嬉しそうに報告してくれます。担任以外の先生も子どもや親のことも覚えていて、園全体で見ているのを感じて安心します。
11	・我が子は、やりたいことがあっても人に譲って我慢する傾向があるのですが、担任の先生が「我慢しすぎないように気をつけてみますね」と声かけいただき、細やかに見ていただいていると感じています。
12	・どの先生がいられても、すぐに子どものことを分かって下さるので、ありがたいです。
13	・とても細かな事まで見てくださり、ちょっとした娘の変化などにも気づいて教えていただけて安心してます。



要 約	<p>1. 教職員の対応と理解</p> <ul style="list-style-type: none"> 先生方は細やかに子どもたちの様子を観察し、適切に対応してくれている。 担任だけでなく、他の先生も子どもや保護者のことを覚えており、園全体でのサポートが感じられる。 <p>2. 信頼関係の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 担任の先生への信頼が厚く、子どもも先生に会うことを楽しみにしている。 入園前に伝えたことを受け、その後子どもの変化や気になる点をしっかり覚えてフォローしてくれる姿勢に安心している。 	<p>3. 親身なサポートと相談対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者の相談に丁寧に対応し、気になる点や就学に関する相談にも時間を割いてくれることに感謝している。 定期的に園での子どもの様子を報告してくれるため、保護者も安心できる。 <p>4. 子どもの成長サポート</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの得意な部分を褒め、苦手な部分は無理のない範囲でサポートしてくれる。 我慢しがちな子どもの性格を理解し、必要に応じて譲らなくて良い場面ではサポートしてくれている。
--------	--	---

《幼稚園から》

- 「担任の先生だけでなく、他の教師も子どもや保護者のことを覚えており、園全体でのサポートを感じられる」といった意見が多く寄せられました。
- 「保護者の相談に対し丁寧に対応し、時間を惜しまずに対応してくれること、また定期的に園での子どもたちの様子を報告してくれるため、保護者も安心できるとの意見といった意見が多く寄せられました。
- 個々に応じた指導を充実させるためには、各々の子どもを深く理解することが不可欠です。特に幼児教育においては、保護者の皆様との情報交換や連携が重要です。今後とも、保護者の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



4

お子さまは、幼稚園での日々の保育活動や行事を
喜んでいきますか



1	<ul style="list-style-type: none"> 自然豊かな環境でのびのびと遊ぶこと、季節を感じるイベントや地域イベント、食育など、家ではできないような経験もさせて頂き、子どもが楽しそうに話してくれます。
2	<ul style="list-style-type: none"> 行事をととても楽しんでいたり、行事への準備をする段階からいつもワクワクしている雰囲気を感じています。
3	<ul style="list-style-type: none"> 「明日は〇〇がある！」と楽しみにしたり、イベントがなくても「今日は〇〇遊びをする！」と本人なりに幼稚園での楽しみを自然と見つけられています。 可能なら夏のプール遊びの機会がもう少し増えると嬉しいです。
園から	<ul style="list-style-type: none"> 2階年中教室側にあったプールは、今回の増改築工事のため撤去しましたが、園舎が完成した際には新たなプールを導入して、夏の暑い日にはプールを使った水遊びを十分に楽しめるようにしたいと考えております。
4	<ul style="list-style-type: none"> 特に新しいこと、行事はすごく楽しみにしています。不安より楽しみが上回っているのは先生のおかげだと思っています。その日印象に残ったことは自ら伝えてくれるようになりました。
5	<ul style="list-style-type: none"> 年長になって課外活動を多く取り入れてくれて、とても楽しんでいます。 お泊まり会は実施しないとのことでしたが近隣の幼稚園は実施してる園が多く、本人も園以外の友達にお泊まり会のことを聞き、自分も泊まってみたかったと話すことはありました。
園から	<ul style="list-style-type: none"> 年長児のお泊まり会についてですが、以前は実施しておりましたが、コロナ禍を受けて宿泊を伴わない「すぺしゃるでー」として再構成し、現在はその形式で行っております。この「すぺしゃるでー」は宿泊を除けば、以前のお泊まり会と大きな変更はありません。子どもたちが幼稚園で一晩を共に過ごすことは、多くの子どもたちにとって貴重な思い出になると考えられますが、一方で宿泊が難しい子どもたちも増えているのが現状です。また、土日を利用した勤務により職員の負担が増加しているため、今後もお泊まり会の実施は予定しておりません。ご了承ください。
6	<ul style="list-style-type: none"> 細かく先生がいつ何をやるか教えてくれているので、子どもはいつも明日はこれをやるんだ！楽しみ！とやる気に溢れています。
7	<ul style="list-style-type: none"> 運動会でのお遊戯の曲を自ら聞いていたり、朝の会のご挨拶を自宅で行っていたり、楽しかったんだろうというのが伝わってきます。
8	<ul style="list-style-type: none"> 「明日はお当番だよ」「遠足だから準備しなきゃ」と日々の保育から行事までとても楽しみにしています。防災センターがとても楽しかったようで、思い出しては話をしています。
9	<ul style="list-style-type: none"> 親子遠足などが、あれば楽しい思い出を作れると思います。
10	<ul style="list-style-type: none"> 体調が悪くても休みたいとは言わないくらい、幼稚園が大好きです。
11	<ul style="list-style-type: none"> 入園当初は、車の中から大泣きで行かない！と言っていたのが、今では赤信号で止まると、『早く清田幼稚園に行きたいから動いて』と言うようになり、幼稚園で楽しく過ごすことが出来ていると感じています。



12	<ul style="list-style-type: none"> • といえば幼稚園の不満を言ったことは一度もないですね。 		
13	<ul style="list-style-type: none"> • 毎日帰宅すると幼稚園でどんなことをしたのかを楽しそうに話してくれます。前回の参観日で取り組んでいたマリオの劇では、みんなで考えて作ることがとても楽しかったようで、帰宅後に園でどんなことをしたのか、作ったのか興奮気味にいつも話してくれて、参観日に頑張った姿を見てもらうことへの期待もとても大きかったように感じます。 		
14	<ul style="list-style-type: none"> • みんながやりたいと言った活動を取り入れたりして、子ども達を主体に考えてくれていると思います。遠足が2回あるのも喜んでいきます。のびのびとしながらも座って行う活動もあり、満足しています。 		
15	<ul style="list-style-type: none"> • 様々な活動をいつも楽しみに参加しています。特に「すぺしゃるデー」の事は今でもよく話しています。こども達が喜ぶような内容をいつも考えてくれているんだなと思います。 		
16	<ul style="list-style-type: none"> • 日々の園生活も楽しんでいますが、「明日は遠足に行く！運動会だ！」と、行事の前は特にうきうきしています。 • 帰ってきてからもどうだったかよくお話してくれます。ドキュメンテーションを見ると、より鮮明に活動を思い出すようで、嬉しそうに話しています。 		
17	<ul style="list-style-type: none"> • クラスのお友達も先生方も大好きようで、毎日幼稚園から帰ってくると1日の出来事を楽しそうに教えてくれます。 		
18	<ul style="list-style-type: none"> • 幼稚園が大好きなので、たんぽぽの時間まで毎日いたいと言っています。 		
19	<ul style="list-style-type: none"> • 幼稚園に行くのが毎日楽しいようです。 		
要約	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>1. 行事や日々の活動への楽しみ</p> <ul style="list-style-type: none"> • 行事や日常の活動をとても楽しみにしており、前日から「明日は〇〇がある！」と期待に満ちている様子が多く見られる。 • 自然豊かな環境でのびのびと遊び、季節を感じるイベントや地域活動を体験できることを喜んでいる。 <p>2. 家庭での話題</p> <ul style="list-style-type: none"> • 帰宅後にその日幼稚園で何をしたかを楽しそうに話してくれる子が多く、家族にも幼稚園での様子が伝わっている。 • 特に印象に残った行事や活動については、詳細に話すこともあり、思い出がしっかり残っている。 </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>3. 先生と園の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> • 子どもたちのやりたいことを取り入れたり、活動を工夫してくれているため、子どもたちは主体的に関わり、満足している。 • 先生方が翌日の活動内容を細かく教えてくれることで、子どもたちが次の日の予定を楽しみにする気持ちが高まっている。 <p>4. 特別な体験や行事に対する反応</p> <ul style="list-style-type: none"> • 遠足や運動会などの行事は特に楽しみにしており、家庭でも話題にしている。 <p>《要望・改善点》</p> <ul style="list-style-type: none"> • プール遊びの増加やお泊り会の実施などを希望する意見 </td> </tr> </table>	<p>1. 行事や日々の活動への楽しみ</p> <ul style="list-style-type: none"> • 行事や日常の活動をとても楽しみにしており、前日から「明日は〇〇がある！」と期待に満ちている様子が多く見られる。 • 自然豊かな環境でのびのびと遊び、季節を感じるイベントや地域活動を体験できることを喜んでいる。 <p>2. 家庭での話題</p> <ul style="list-style-type: none"> • 帰宅後にその日幼稚園で何をしたかを楽しそうに話してくれる子が多く、家族にも幼稚園での様子が伝わっている。 • 特に印象に残った行事や活動については、詳細に話すこともあり、思い出がしっかり残っている。 	<p>3. 先生と園の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> • 子どもたちのやりたいことを取り入れたり、活動を工夫してくれているため、子どもたちは主体的に関わり、満足している。 • 先生方が翌日の活動内容を細かく教えてくれることで、子どもたちが次の日の予定を楽しみにする気持ちが高まっている。 <p>4. 特別な体験や行事に対する反応</p> <ul style="list-style-type: none"> • 遠足や運動会などの行事は特に楽しみにしており、家庭でも話題にしている。 <p>《要望・改善点》</p> <ul style="list-style-type: none"> • プール遊びの増加やお泊り会の実施などを希望する意見
<p>1. 行事や日々の活動への楽しみ</p> <ul style="list-style-type: none"> • 行事や日常の活動をとても楽しみにしており、前日から「明日は〇〇がある！」と期待に満ちている様子が多く見られる。 • 自然豊かな環境でのびのびと遊び、季節を感じるイベントや地域活動を体験できることを喜んでいる。 <p>2. 家庭での話題</p> <ul style="list-style-type: none"> • 帰宅後にその日幼稚園で何をしたかを楽しそうに話してくれる子が多く、家族にも幼稚園での様子が伝わっている。 • 特に印象に残った行事や活動については、詳細に話すこともあり、思い出がしっかり残っている。 	<p>3. 先生と園の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> • 子どもたちのやりたいことを取り入れたり、活動を工夫してくれているため、子どもたちは主体的に関わり、満足している。 • 先生方が翌日の活動内容を細かく教えてくれることで、子どもたちが次の日の予定を楽しみにする気持ちが高まっている。 <p>4. 特別な体験や行事に対する反応</p> <ul style="list-style-type: none"> • 遠足や運動会などの行事は特に楽しみにしており、家庭でも話題にしている。 <p>《要望・改善点》</p> <ul style="list-style-type: none"> • プール遊びの増加やお泊り会の実施などを希望する意見 		

《幼稚園から》

- 「子どもたちの希望を取り入れたり、活動を工夫しているため、子どもたちは主体的に参加し、満足感を得ている」という意見など、幼稚園での活動や行事に対して子どもたちが喜びを感じているという意見が多く寄せられました。
- 幼稚園では、これからも子どもたちが夢中になって楽しく遊んだり活動できるよう魅力ある教育・保育の充実に努めてまいります。



5

幼稚園は、災害や事件・事故、感染症の予防などに対して、安全な環境づくりに取り組んでいますか



1	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練をよくしてくれていたり、感染症に対してもしっかり対応していただいていると思います。
2	<ul style="list-style-type: none"> 園舎工事期間中に災害が起きた時のお迎え方法が不透明なので、もし対策をお考えでしたら発信をお願いしたいです。
3	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練の回数がしっかりと設けられているのいいなと思います。お迎え訓練が中止になったので、安全マニュアルのページなどお知らせがあると確認しやすいなと思いました。
園	<ul style="list-style-type: none"> 園舎増改築工事期間中のお迎え要領につきましては、至急皆様にお知らせいたします。周知が遅れましたこと、申し訳ございませんでした。
4	<ul style="list-style-type: none"> 自由遊びの時間は先生が各遊具に必ずいたり、プレハブの職員室にも人がいるようになっているので安全に気をつけているのを感じます。
5	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な避難訓練のおかげで「おはしも」の約束を年少からしっかり覚えてきています。
6	<ul style="list-style-type: none"> 避難する時の「おはしも」のお約束を園でしっかり覚えてきています。家でも避難訓練の日に確認しています。
7	<ul style="list-style-type: none"> 敷地内への不審者等侵入対策の強化（ロック機能のある門、園児のいるエリア一帯を囲う柵など）
園から	<ul style="list-style-type: none"> ご意見いただき、ありがとうございます。園では、園舎周辺を金網の柵で囲うなど、園児の安全を守るための基本的な対策を行っております。しかしながら、ロック機能付きの門の設置には、費用面及び施錠・解錠のための人員配置等の課題があるため、現在は防犯カメラの増設など、費用対効果の高い追加の安全対策を検討しているところです。引き続き園児の安全確保に努めてまいりますので、ご理解のほどよろしく願いいたします。 なお、園舎仮説玄関につきましても、園児が在園時間帯は施錠されております。また、各教室には監視カメラが設置されております。
8	<ul style="list-style-type: none"> 特に心配はしていないが、強いて言えばこれから園舎の工事等で人の出入りや車両の出入りが多々あり人の流れも変わる事もあるかと思うので、今まで以上に安全への配慮や子ども達の環境変化に対する心配りをいただければと思う。
園から	<ul style="list-style-type: none"> ご意見をいただき、ありがとうございます。増改築工事期間中は、通常以上に園内の安全対策を徹底し、特に工事関係者の出入りや車両の往来には細心の注意を払ってまいります。（工事車両は、バス旋回場から工事現場に出入り。工事現場は園庭及び園内とも柵で囲って人の出入りができないようにしております） また、園児たちが安心して過ごせるよう、環境の変化にも配慮し、子どもたちの様子に気を配りながら対応してまいります。引き続き、安全第一で取り組んでまいりますので、ご理解のほどよろしく願いいたします。
9	<ul style="list-style-type: none"> ちょっとした怪我などについても、担任の先生からお電話をいただいたり、その時対応して下さった先生からも説明をしていただけたりと、怪我したことをとても心配して下さる姿勢にいつもありがたく、安心できます。
10	<ul style="list-style-type: none"> 知らなくて申し訳なかったのですが、今回の非常用のパンなどがあって、きちんと考えているんだなと思いました。
園	<ul style="list-style-type: none"> 今年度、園児・職員の2食分以上の非常食を更新しました。また、飲料水、非常用電源等の災害対策を行っております。ただし、避難が長期化する恐れがある場合や園舎が危険な状態の場合は、清田区基幹避難場所である『清田小学校』へ避難することにしております。ご承知おきください。



要約	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練・安全教育: 定期的な避難訓練が行われ、「おはしも」のルールが子どもたちにしっかり浸透している。 感染症対策がしっかり行われている。 各遊具やプレハブ職員室での先生の配置により、自由遊び時間も安全に気を配っていると感じられる。 非常食などが整備されており、危機管理が行き届いている。 怪我の際に先生が丁寧に説明してくれるなど、保護者への配慮があり安心感がある。 	<p>《要望・改善点》</p> <ul style="list-style-type: none"> 工事に伴う人や車両の出入りに際し、安全配慮や環境変化への対応を要望。また、工事期間中の災害時のお迎え対応方法についての情報提供希望。 門のロック機能や柵の設置など、敷地内への不審者対策強化の要望。
----	--	---

《幼稚園から》

- 「避難訓練・安全教育: 定期的な避難訓練が行われ、「おはしも」のルールが子どもたちに浸透している」等、概ね良い意見をいただきました。
- 幼稚園において安全・安心な教育環境の整備は、「子どもたちがのびのびと思いきり夢中になって遊べることの前提」であると考えております。
- 今回、増改築中の園児の安全確保、外部からの不審者侵入、お迎え要領の徹底等につきましてご指摘を受けましたが、これらについても再度検討を行います。

【幼稚園における主な安全管理として想定している事項】

園舎内外の施設・設備	保育室・遊戯室・廊下・階段・トイレ・水飲み場や棚・備品・おもちゃ・遊具・暖房器具など 園庭・固定遊具・砂場・花壇や畑・お山・駐車場など
災害	地震・雷・台風・洪水・火災・ミサイルなど
感染症	感染症の流行・食物アレルギー・食中毒
保育中の事故	通園バスの運行・遊具事故 遊びの中での事故（水遊び） 遠足や散歩中の事故 出席確認・健康観察・換気・水分補給・誤嚥事故・食物アレルギー・ハサミ等の使用
その他	不審者侵入・爆弾予告・個人情報の扱い・虐待・いじめやいやがらせ

- 当園では、年度の初めに職員による施設や設備の安全点検を実施するだけでなく、関係機関による消防点検や衛生点検も行っています。また、日常的な安全点検や「危機管理マニュアル」の整備を通じて、事故の未然防止や災害等の緊急事態に備えています。
- しかし、安全管理において完璧というものは存在しません。日頃からテレビやニュース、他の園の情報など、多様な情報源から事故や事件につながる要因を見つけ出し、他人事とせず本園の危機管理に活かすことが重要と考えております。
- また、園内でのヒヤリハットを検証し、職員全体の危機管理意識を高める努力を続けてまいります。



6

幼稚園は、保護者や地域の方にお便りやメール、ホームページ、ドキュメンテーション、ポートフォリオ、Instagram等で、分かりやすく園の情報を伝えていますか



1	<ul style="list-style-type: none"> ポートフォリオでは、日々のちょっとした会話や、お友だちとの関わりなどを書いてくださり、一人一人の性格や特徴をよく理解し、丁寧に関わってくださっていることが伝わります。お忙しい中で、幼稚園での生活を発信して下さり感謝しています。
2	<ul style="list-style-type: none"> 写真や動画で日々の活動の様子を知ることができるので嬉しいです。子どもも自分の活動の様子を写真や動画で見ることを楽しみにしていて、配信されると一緒に見ながら活動した内容を色々教えてください。
3	<ul style="list-style-type: none"> 夏休みの作品を、提出した子全て、一人一人を、ドキュメンテーションにのせてくださり、自分の子だけじゃなく、他のお友達がこんな作品を作ったのだなと知ることができ、他のお友達の成長も知ることができ、比較するわけではありませんが、親として良い刺激にもなり、とても良いなと感じました。 以前は紙の毎月通信で、「夏休み楽しかったインタビュー」などを一人一人のせていましたが、他のお友達がどんなことを考え、感じているのか、知ることができ良かったです。 今は紙通信など、そんな時代ではありませんが、親同士の繋がりや共有が昔より希薄な今、ドキュメンテーションで、このような発信がとても有り難かったです。お忙しい中ありがとうございます。
4	<ul style="list-style-type: none"> 園長先生が作ってくださる年長の行事の動画は見応えがあってありがたいです。たんぼぼでの活動の様子などももう少しわかると嬉しいです。
5	<ul style="list-style-type: none"> ドキュメンテーション、ポートフォリオは、家族みんなで成長を見返して楽しんでいます。忙しい中で、動画や写真を記録していただき、とても感謝しています。
6	<ul style="list-style-type: none"> ドキュメンテーションやポートフォリオなどから、子どもたちが楽しく園生活を送っていることが伝わってきて、毎回楽しみに見えています。
7	<ul style="list-style-type: none"> 地域の行事など、色々教えていただけたら、また積極的に参加されたり、地域との連携がうれしいです。
8	<ul style="list-style-type: none"> ドキュメンテーション、ポートフォリオは、家族みんなで成長を見返して楽しんでいます。忙しい中で、動画や写真を記録していただき、とても感謝しています。
9	<ul style="list-style-type: none"> 普段の生活の写真や動画を見れるのはとてもありがたいです。先生方の業務負担が大きくなり範囲で引き続き定期的にアップして頂けると嬉しいです。
10	<ul style="list-style-type: none"> 先生方の負担になっているようであれば、減らした方がよいと思います。お迎えに行った時に、十分伝えてくださっていると思います。運動会のリアルタイム配信も、もう不要だと思います。ポートフォリオも、前期後期一回でよいと思います。
園から	<ul style="list-style-type: none"> 職員への温かいお心遣いをありがとうございます。当園においても、職員、特に担任の先生方の長時間労働や持ち帰り仕事の増加が深刻な課題となっています。このような状況の中、今後は職員の業務を見直し、廃止または簡略化しなければならないことが予想されます。その際には、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



11	<ul style="list-style-type: none"> • クラスによってドキュメンテーションの更新回数が違うのが少し気になります。 		
園から	<ul style="list-style-type: none"> • このドキュメンテーションの発行については、一昨年まで印刷物で発行していた『クラスだより』の代わりに、クラスのドキュメンテーションを月に一度発行することを除き、発行回数や掲載内容については担任や学年の裁量に委ねています。そのため、発行内容や頻度は担任や学年によって異なります。 • 園としては、発行回数を均等にするために「発行回数を統一して〇回」としたり「〇〇の際には必ず発行する」といった一律のルールは設けないことにしています。一律の規定を設けると、「最低限〇回」の決まりになりかねず、先生方の働き方の柔軟性を制約する可能性があるからです。 • 「もっと頻繁に発行してほしい」「子どもたちの様子をもっと知りたい」といった皆様のご要望を大切に受け止めつつ、担任の先生による自主的な発行に関しては、回数の違いについてご理解いただけますと幸いです。何卒よろしく願いいたします。 		
12	<ul style="list-style-type: none"> • 有料でもよいので、掲載写真をダウンロードできるようにしてほしいです。 		
園	<ul style="list-style-type: none"> • ドキュメンテーションやInstagram等の掲載写真のダウンロードにつきましては、担任の事務負担の増加が懸念されるため、実施しません。ご理解賜りますようお願いいたします。 		
13	<ul style="list-style-type: none"> • いつも子どもたちのことを詳しく伝えてくれたり、お知らせも細かくしてもらえて助かってます。 • 認定こども園への移行のお知らせについては、いつも一方的にお知らせがあるだけで、周りの保護者からも色々疑問点が聞かれているので、説明会のようなものをしてほしいと思っています。 • こども園に移行するときに現在から変更点もあると思うので、そこを早く決定していただかないと来年からどうなるのか不安です。内容によっては転園を考えている保護者もいるようですし、早めに決定していただきたいです。 		
園から	<ul style="list-style-type: none"> • 認定こども園への移行に関する主な内容については、10月11日に配布した資料と動画にてお知らせしておりますが、給食費などの詳細については、年度末に教育説明会（3月20日予定）を開催し、移行に関わる内容につきましてもご説明いたします。地域や保護者の皆様に改めてご案内いたしますので、ぜひ多数の皆様のご出席をお願いいたします。 • また、移行について新たな情報が判明した場合には随時お知らせいたします。ご不明な点がございましたら、現時点でお答えできる範囲で対応いたしますので、お気軽に園までお問い合わせください。 		
要約	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> 1. ポートフォリオやドキュメンテーションの丁寧さ <ul style="list-style-type: none"> • 日々の会話や友達との関わりを記録し、子ども一人一人の性格や特徴をよく理解して情報提供されている。 • 夏休みの作品や活動の様子を詳細に記録し、他の子どもの成長も知ることができる。 • 家族全員で成長を見返して楽しんでいる。 2. 写真や動画の活用 <ul style="list-style-type: none"> • 子どもの活動の様子が写真や動画で配信されることで、子ども自身も保護者と一緒に振り返り非常に楽しみにしている。 • 年長の行事動画やクラス活動のドキュメンテーションが良い刺激になっている。 3. 地域との連携 <ul style="list-style-type: none"> • 幼稚園が地域行事や地域との交流に積極的に関わっていることが保護者にとって嬉しい。 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>《要望・改善点》</p> <ul style="list-style-type: none"> • 有料でも写真をダウンロードできるようにしてほしい。 • 認定こども園への移行に関する説明会の開催を希望。 • クラスによってドキュメンテーションの更新頻度が異なる点が気になる。 • 先生方の負担を考慮し、運動会のリアルタイム配信やポートフォリオの頻度を減らしてもよい。 • たんぼぼでの活動の様子をもっと知りたい。 </td> </tr> </table>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ポートフォリオやドキュメンテーションの丁寧さ <ul style="list-style-type: none"> • 日々の会話や友達との関わりを記録し、子ども一人一人の性格や特徴をよく理解して情報提供されている。 • 夏休みの作品や活動の様子を詳細に記録し、他の子どもの成長も知ることができる。 • 家族全員で成長を見返して楽しんでいる。 2. 写真や動画の活用 <ul style="list-style-type: none"> • 子どもの活動の様子が写真や動画で配信されることで、子ども自身も保護者と一緒に振り返り非常に楽しみにしている。 • 年長の行事動画やクラス活動のドキュメンテーションが良い刺激になっている。 3. 地域との連携 <ul style="list-style-type: none"> • 幼稚園が地域行事や地域との交流に積極的に関わっていることが保護者にとって嬉しい。 	<p>《要望・改善点》</p> <ul style="list-style-type: none"> • 有料でも写真をダウンロードできるようにしてほしい。 • 認定こども園への移行に関する説明会の開催を希望。 • クラスによってドキュメンテーションの更新頻度が異なる点が気になる。 • 先生方の負担を考慮し、運動会のリアルタイム配信やポートフォリオの頻度を減らしてもよい。 • たんぼぼでの活動の様子をもっと知りたい。
<ol style="list-style-type: none"> 1. ポートフォリオやドキュメンテーションの丁寧さ <ul style="list-style-type: none"> • 日々の会話や友達との関わりを記録し、子ども一人一人の性格や特徴をよく理解して情報提供されている。 • 夏休みの作品や活動の様子を詳細に記録し、他の子どもの成長も知ることができる。 • 家族全員で成長を見返して楽しんでいる。 2. 写真や動画の活用 <ul style="list-style-type: none"> • 子どもの活動の様子が写真や動画で配信されることで、子ども自身も保護者と一緒に振り返り非常に楽しみにしている。 • 年長の行事動画やクラス活動のドキュメンテーションが良い刺激になっている。 3. 地域との連携 <ul style="list-style-type: none"> • 幼稚園が地域行事や地域との交流に積極的に関わっていることが保護者にとって嬉しい。 	<p>《要望・改善点》</p> <ul style="list-style-type: none"> • 有料でも写真をダウンロードできるようにしてほしい。 • 認定こども園への移行に関する説明会の開催を希望。 • クラスによってドキュメンテーションの更新頻度が異なる点が気になる。 • 先生方の負担を考慮し、運動会のリアルタイム配信やポートフォリオの頻度を減らしてもよい。 • たんぼぼでの活動の様子をもっと知りたい。 		



《幼稚園から》

- 地域連携や情報発信に関して、概ね好意的な意見をいただきました。認定こども園への移行に関する新たな情報が判明次第、皆様に随時お知らせいたします。また、年度末の3月には教育説明会(3月20日予定)を開催し、認定こども園移行に関する詳細や令和7年度の教育・保育について、保護者の皆様に改めてお伝えいたします。
- ドキュメンテーションやポートフォリオ、動画のリアルタイム配信については、職員の負担が過度にならないよう配慮しつつ、今後も可能な範囲で継続していく考えです。
- 地域連携の一環として、『のびのび夏祭り』では保護者や地域の方々との協力を得て、大変盛況のうちに終了しました。また、清田区民祭りでは、清田区出身のシンガーソングライター佐藤広大さんと共に年長児有志がステージで歌うなど、地域との連携も進展しています。
- 小学生との交流においては、年長児が清田小学校、有明小学校、北野平小学校の3校と交流を行いました。今後もこの交流を継続し、年長児が不安なく小学校へ就学できるよう努めてまいります。
- 当園は地域に愛される幼稚園を目指し、今後も地域の皆様、保護者の皆様、卒園児の皆様への情報発信と連携に力を入れていく所存です。



7

きよた幼稚園の良いところがありましたらお書きください

1	<ul style="list-style-type: none"> • 自然が多く、課外活動等も充実しており知人に"羨ましい"と言われた事があります。 • 少子化、幼稚園の園児が少ない世の中で預かり保育もして貰えたり、いたれりつくせりだと思います。先生方いつもありがとうございます。
2	<ul style="list-style-type: none"> • 子どものことをよくわかって接してくれている先生が多いし、子どもが楽しいと思える行事がたくさんあるなど感じます。
3	<ul style="list-style-type: none"> • 担任の先生によりますが、定期的に園内の様子を報告頂けてありがたいです。 • 個人の良い所を見つけて伸ばそうとしてくれる所。
4	<ul style="list-style-type: none"> • 行事が沢山あり、子どもが季節毎に楽しみにしている。
5	<ul style="list-style-type: none"> • 先生方が園児一人一人に目を配っている印象。 • 子ども達のがのびのびしている。
6	<ul style="list-style-type: none"> • 担任ではない先生も名前を覚えてくれて接してくれるところ、バスの運転手さんもただ送迎するのではなく名前を呼んで挨拶してくれるところ。子どものことをよく見てくれているところ。
7	<ul style="list-style-type: none"> • 遊ぶスペースが確保されていて、自由に走り回って遊べる所。 • お山が整備中で、とても悲しいです。 • 来年は幼稚園最後の年長さんなので、雪解けとともに遊べるようになってほしいです。
8	<ul style="list-style-type: none"> • 子ども達を喜ばせたいという先生たちの気持ちが各種行事や連絡で伝わってくる。また事故や病気などが発生した際、迅速かつ丁寧な情報発信があるため保護者として安心できる。きよた幼稚園に通わせられて良かったねと妻と何度か話したこともある。園長、先生たちには感謝している。
9	<ul style="list-style-type: none"> • 先生方がとても優しく子どもに接してくれている
10	<ul style="list-style-type: none"> • 幼児期に必要な「のびのびと遊ぶ事」や製作、自然を体感したり季節に合わせた遊びを沢山させて頂き子どもの成長を日々感じています。先生方、バスの運転手さんを含め、皆さんの連携もとても良い事、担任の先生に関しましては子どもたちの気持ちに寄り添って下さり、時には優しく見守って自主性や成長に繋げて下さる所が良いと思いました。 • 運動会や発表会なども毎年とても素晴らしいものを見せて頂き、嬉しく思っています。 • 体調や怪我などもこまめに連絡下さる点も安心しております。
11	<ul style="list-style-type: none"> • 先生方がとても優しく協力的で、特に担任の先生や、サポートについてくださっている先生方にはとても配慮して頂いて、本当に助かっています。
12	<ul style="list-style-type: none"> • 担任の先生だけでなく、園全体の先生方で子どもの事をよく見て下さっている印象があります。
13	<ul style="list-style-type: none"> • 担任の先生はもちろんですが、それ以外の先生方も子どもの事をよく見てくれていると感じる。それぞれに、日常の様子を伝えてくれる事が親としてありがたい。 • 最近では食育への取組みがとても良いと思いました。
14	<ul style="list-style-type: none"> • 外遊びが充実しているところ。
15	<ul style="list-style-type: none"> • 園長先生、先生方がいつも明るく常に子どもたちに寄り添ってくれているので、安心して毎日子どもに笑顔でいってらっしゃいと言えます。
16	<ul style="list-style-type: none"> • どの先生も子どもの顔と名前を覚えているだけでなく、親の顔も覚えてくれているところ。
17	<ul style="list-style-type: none"> • 先生が明るく優しく、いつも一生懸命に子どもたちのことを考えてくれています。不安なく子ども達を通わせることができている、子ども達も幼稚園が大好きです。



7

きよた幼稚園の良いところがありましたらお書きください

18	<ul style="list-style-type: none"> 先生が素晴らしいと思います。 親でも気が付かない様な些細な事でもちゃんと見ていてくれていて、ちょっとした事でも気になれば連絡を下さり申し訳無い位です。 お迎え時も顔を見ただけで誰の親なのかもきちんと把握して下さり、ありがたく思います。 好き嫌いが多く家では食べられ無かった物も、今では少しずつ食べられるようになり、息子本人も喜んでますが、私達親も幼稚園の先生方のお陰だと喜びと感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。これからもよろしくお願い致します。
19	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの長所をよく見てくれて、随時報告してくれるので嬉しいです！悪いところもどんどん教えて欲しいです！
20	<ul style="list-style-type: none"> 先生方が明るい！から子ども達もみんな明るいし、子どもが幼稚園行きたい！と思うような場所であると感じる。子ども達一人一人と真剣に向き合ってくれている感じがする。
21	<ul style="list-style-type: none"> 先生方が子ども達の名前をしっかり把握していることにとても感心しました。
22	<ul style="list-style-type: none"> 教職員の方皆さんが親切。また、送迎や行事で園を訪れた際は園児本人以外の連れの子ども(姉妹)についても名前を覚えて頂いており、兄弟姉妹についても配慮が行き届いていると感じた。
23	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園での様子がよく分かり、楽しんでいる様子を見て安心しておりました。バスの運転手さんを含め、先生方みなさんで保育に携わって下さっているのが実感としてあります。担任の先生以外の先生も、幼稚園での様子を教えてくださいまして、ありがたく思っておりました。
24	<ul style="list-style-type: none"> 落ち着いた園の雰囲気。 のびのび遊べる環境。 敷地内に自然を感じられるお山、広い園庭、園内の作り（ホールの位置、プレイルーム、絵本コーナー）。 そして何よりも先生方が子ども一人一人を把握して声をかけてくれるところ。
25	<ul style="list-style-type: none"> 担任の先生をはじめ、補助の先生や運転手さんもみなさん親切で優しい。なかなかオムツがとれなかったが、練習を強要されることもなく、子どものペースに合わせて下さり感謝しています。
26	<ul style="list-style-type: none"> 先生方の対応が温かく、毎日安心して登園させることができます。
27	<ul style="list-style-type: none"> ポジティブに変換できる力を身につけられること。これは本当に生きていくうえで必要な力だと思います。
28	<ul style="list-style-type: none"> 先生たちが優しく、時に厳しく子ども達と接している姿をよく見ます。安心して我が子も預けられます。
29	<ul style="list-style-type: none"> 子どものやりたい事を尊重してくれる。 教育目標に沿った取り組みを遊びを通してしてくださっていると感心していました。
30	<ul style="list-style-type: none"> 植物を育てたり、季節毎に遊び方を工夫していて良いと思いました。 どの先生も優しく対応して頂いてありがたいです。
31	<ul style="list-style-type: none"> 誕生会や参観日、スポーツ教室参観日があり、子どもの様子を知ることができ良かったです。
32	<ul style="list-style-type: none"> 自然豊かなので、のびのびと遊べる場所です。
33	<ul style="list-style-type: none"> とても満足しています。先生方はいつも明るく挨拶してくれますし、子どもが楽しく幼稚園に通っているのを見て素敵な幼稚園だと思っています。苦手なことも家ではやる気が出なくても幼稚園なら頑張っているようで、成長を促してくれる場だと感じています。にこにこでもお世話になっていますが、担当の先生もいつも明るく優しく楽しい活動をして下さっています。



7

きよた幼稚園の良いところがありましたらお書きください

34	<ul style="list-style-type: none"> 先生やバスの乗務員さん職員の方が、子どもの顔と名前を覚えるのが早くて、名前を呼んで挨拶をしたり、話しかけているところが良いと思っています。 子どもの兄弟の名前も覚えて話しかけてくれる人も多くて親しみやすさを感じます。
35	<ul style="list-style-type: none"> 園庭が広くきれいに整備されている。 連絡アプリのドキュメンテーション等で子どもの様子がよく分かる。担任の先生がこどもの園での様子を分かりやすく伝えてくださる。
36	<ul style="list-style-type: none"> どの先生方も子ども達のことをよく見てくださっているところです。
37	<ul style="list-style-type: none"> のびのびと遊べる場所。
38	<ul style="list-style-type: none"> 嫌な感じのする先生が一人もないこと。 のびのびと子どもらしく幼稚園生活を送ることができる場所。
39	<ul style="list-style-type: none"> 必要な連絡が早いし、説明がしっかりしていると思います。いつもありがとうございます。
40	<ul style="list-style-type: none"> 教職員の教育。
41	<ul style="list-style-type: none"> よく見てくださるので安心しております。
42	<ul style="list-style-type: none"> よく連携が取れていて安心して預けられます。
43	<ul style="list-style-type: none"> 自然と触れ合う機会が多いところや、クラス活動でも季節に合った楽しい製作などがある場所。
44	<ul style="list-style-type: none"> 先生方が子どものことをよく見てくださり、親身に関わってくれてるのをいつも感じています。清田幼稚園に入園してから、行きたくないとぐずった事は一度もありません。
45	<ul style="list-style-type: none"> 何かの行事やクラス方針などを、園児同士がグループディスカッションしながら決める機会が多く、協調性や主体性を養ってくれていると感じています。
46	<ul style="list-style-type: none"> 施設が綺麗。 先生方が優しく笑顔で、何事も熱心で素敵。
47	<ul style="list-style-type: none"> いつも先生方が笑顔で対応しているところが素敵だと思います。
48	<ul style="list-style-type: none"> 先生方の連携。思っている以上に情報共有されていて、驚くときがある。 先生方が優しく温かい。いつもたんぼぼにお迎えに行くと先生方の顔を見るとほっとします。子ども第一に、沢山関わって下さりありがとうございます。 清掃の方、技術、バス乗務の方の細やかな配慮にもいつも感動しています。
49	<ul style="list-style-type: none"> どの先生方も笑顔で元気いっぱいに接して下さるので、親子共々安心します。 行き渋り等がある娘に寄り添って対応して下さるので、とてもありがたく思っています。
50	<ul style="list-style-type: none"> 園児数が多くても柔軟でこまやかに対応していただけてとてもいいです！子どもが気に入っていた泥んこ遊びも気温を見て延長して下さり、長く楽しむことができました。 焼き芋、お山遊び、餅つきなどは自宅では難しいですし、幼稚園生活の思い出になるような行事なのでありがたいです。



51	<ul style="list-style-type: none"> • 自然に触れられる機会が多く取り入れられていたり、行事も多いので家庭ではなかなかできない事もたくさん経験させてもらえます。
52	<ul style="list-style-type: none"> • 広い園庭でのびのび体を動かして遊べるところ。 • 先生たちがみんな元気で優しい。 • 自然に囲まれた環境。 • 地域に根付いた活動や行事。
53	<ul style="list-style-type: none"> • 広い園庭で、走り回れる環境がいいなと思います。いつもポケットに砂や木の実などが入っていて、たくさん遊んだんだなと嬉しく思っています。
54	<ul style="list-style-type: none"> • 子どもの気持ちをととても尊重してくれる。
55	<ul style="list-style-type: none"> • 年齢関係なく交流があり、お友達になれるところ。
56	<ul style="list-style-type: none"> • 先生たちは元気で優しく、たくさん子どものお話をしてくださるところです。
57	<ul style="list-style-type: none"> • 夏は泥遊びや虫取り、冬は雪遊びと四季を感じられる。
58	<ul style="list-style-type: none"> • 先生方が子どもの気持ちに寄り添い、丁寧にお話を聞いてくれているなど感じています。
59	<ul style="list-style-type: none"> • 特別お勉強系に特化しているとかではないけど、この年代の子どもらしく、のびのび元気いっぱい遊びや集団生活から色々なことを覚えて成長できるところがとても良いなと思っています。
60	<ul style="list-style-type: none"> • 先生がとても親身になってくれるところ。 • お山や夏だどろんこ遊びなどの外遊びが沢山できるところ。 • スポーツ教室や陶芸、観劇があるところ。 • 運動会や発表会の演出などが素晴らしく、どの先生も頑張ってくれていることが伝わるところ。 • 遊びだけではなく、朝の会で天気や曜日にふれてくれて、毎月の絵本で座る時間も有りバランスがすごくいいと思います。 • 毎年先生がクラス独自で協力して製作を考えてくれるのも素晴らしいと思いました。
61	<ul style="list-style-type: none"> • 自然の中でも遊べるようになっており、先生の相談もしやすくとても有り難いです。また、遠方に住む祖父母にもYouTubeで運動会などのイベントが見れるのはとても有り難いです。
62	<ul style="list-style-type: none"> • 季節に合わせて野菜の収穫や焼き芋など家庭ではなかなか経験させてあげられない行事や、自由時間や体操教室などのびのび体を動かす時間が様々あり、娘もとても楽しそうに毎日通うことができます。
63	<ul style="list-style-type: none"> • 信頼できる先生方が揃っていて、安心して子ども達を預けられる。また自身で考えたり行動できるように先生が声かけをしてくれ、心の成長を見守ってくれる。
64	<ul style="list-style-type: none"> • れんらくアプリが便利。 • 監視カメラが設置されており、それが必要な時に活かされている。 • 補助教諭が多く、手厚く見てくれていると感じます。
65	<ul style="list-style-type: none"> • どの先生方も園児や保護者の顔まで覚えていていつも感心しています。自然もたくさんあり、いろいろな体験をさせてもらって満足しています。子ども達の意見を尊重して保育をしてくださっていると感じています。



7

きよた幼稚園の良いところがありましたらお書きください

66	<ul style="list-style-type: none"> 担任ではない先生も子どもの名前を覚えて接してくれるところ。バスの運転手さんもただ送迎するのではなく子どもの名前を呼んで挨拶してくれるところが素敵だと思います。 よく子どもを見てくれているところが良いところだと思います。 		
67	<ul style="list-style-type: none"> いつも先生方が笑顔で、とても素敵です。 子どもも今日も楽しかったー！と喜んで帰ってきてくれるので、嬉しくなります！ありがとうございます。 		
68	<ul style="list-style-type: none"> 先生方がいつでも親身になってくださるところ、子どもの細かい成長まで見逃さずに報告してくださるところに毎回驚かされております。感謝の気持ちでいっぱいです。いつも本当にありがとうございます！ 		
69	<ul style="list-style-type: none"> とにかく、幼稚園としての土台がしっかりしていて、先生方、職員の皆様のマンパワー、チームワークがすばらしく、安心して子どもをお願いできる園です。 親と子にとって、常にホッとできる場所(園)です。 		
要約	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自然環境と課外活動: <ul style="list-style-type: none"> 自然が多く、課外活動が充実している。 広い園庭で自由に遊べる環境が整っている。 2. 先生方の対応: <ul style="list-style-type: none"> 先生方が子ども一人一人をよく見て、親身に接している。 担任以外の先生やバスの運転手さんも子どもの名前を覚えてくれている。 先生方が明るく優しく、笑顔で迎えてくれる。 3. 行事とイベント: <ul style="list-style-type: none"> 季節ごとの行事が多く、子どもたちが楽しみにしている。 運動会や発表会などのイベントが充実している。 4. 情報発信と連携: <ul style="list-style-type: none"> 園内の様子や子どもの成長を定期的に報告してくれる。 </td> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> 事故や病気の際の迅速な情報発信が安心できる。 遠方の祖父母もYouTubeでイベントを見られる。 <ol style="list-style-type: none"> 5. 教育方針と成長支援: <ul style="list-style-type: none"> 子どもの長所を見つけて伸ばそうとしてくれる。 自由に遊びながら学び、成長できる環境。 協調性や主体性を養うための子ども同士の話し合いの機会がある。 6. 保護者の安心感: <ul style="list-style-type: none"> 先生方が親身に相談に乗ってくれる。 子どもの細かい成長を見逃さず報告してくれる。 保護者が安心して子どもを預けられる環境が整っている。 <p>《要望・改善点》</p> <ul style="list-style-type: none"> 来年は幼稚園最後の年長さんなので、雪解けとともに遊べるようになってほしいです。 </td> </tr> </table>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自然環境と課外活動: <ul style="list-style-type: none"> 自然が多く、課外活動が充実している。 広い園庭で自由に遊べる環境が整っている。 2. 先生方の対応: <ul style="list-style-type: none"> 先生方が子ども一人一人をよく見て、親身に接している。 担任以外の先生やバスの運転手さんも子どもの名前を覚えてくれている。 先生方が明るく優しく、笑顔で迎えてくれる。 3. 行事とイベント: <ul style="list-style-type: none"> 季節ごとの行事が多く、子どもたちが楽しみにしている。 運動会や発表会などのイベントが充実している。 4. 情報発信と連携: <ul style="list-style-type: none"> 園内の様子や子どもの成長を定期的に報告してくれる。 	<ul style="list-style-type: none"> 事故や病気の際の迅速な情報発信が安心できる。 遠方の祖父母もYouTubeでイベントを見られる。 <ol style="list-style-type: none"> 5. 教育方針と成長支援: <ul style="list-style-type: none"> 子どもの長所を見つけて伸ばそうとしてくれる。 自由に遊びながら学び、成長できる環境。 協調性や主体性を養うための子ども同士の話し合いの機会がある。 6. 保護者の安心感: <ul style="list-style-type: none"> 先生方が親身に相談に乗ってくれる。 子どもの細かい成長を見逃さず報告してくれる。 保護者が安心して子どもを預けられる環境が整っている。 <p>《要望・改善点》</p> <ul style="list-style-type: none"> 来年は幼稚園最後の年長さんなので、雪解けとともに遊べるようになってほしいです。
<ol style="list-style-type: none"> 1. 自然環境と課外活動: <ul style="list-style-type: none"> 自然が多く、課外活動が充実している。 広い園庭で自由に遊べる環境が整っている。 2. 先生方の対応: <ul style="list-style-type: none"> 先生方が子ども一人一人をよく見て、親身に接している。 担任以外の先生やバスの運転手さんも子どもの名前を覚えてくれている。 先生方が明るく優しく、笑顔で迎えてくれる。 3. 行事とイベント: <ul style="list-style-type: none"> 季節ごとの行事が多く、子どもたちが楽しみにしている。 運動会や発表会などのイベントが充実している。 4. 情報発信と連携: <ul style="list-style-type: none"> 園内の様子や子どもの成長を定期的に報告してくれる。 	<ul style="list-style-type: none"> 事故や病気の際の迅速な情報発信が安心できる。 遠方の祖父母もYouTubeでイベントを見られる。 <ol style="list-style-type: none"> 5. 教育方針と成長支援: <ul style="list-style-type: none"> 子どもの長所を見つけて伸ばそうとしてくれる。 自由に遊びながら学び、成長できる環境。 協調性や主体性を養うための子ども同士の話し合いの機会がある。 6. 保護者の安心感: <ul style="list-style-type: none"> 先生方が親身に相談に乗ってくれる。 子どもの細かい成長を見逃さず報告してくれる。 保護者が安心して子どもを預けられる環境が整っている。 <p>《要望・改善点》</p> <ul style="list-style-type: none"> 来年は幼稚園最後の年長さんなので、雪解けとともに遊べるようになってほしいです。 		

《幼稚園から》

- 保護者の皆様より、当園の優れた点について多くのご意見をいただきました。
- 皆様からの温かいメッセージを引き続き大切に、子どもたちへの教育・保育の質を一層充実させるために、新たな魅力を感じていただけるよう努めてまいります。



1	<p>《バスの下校時刻について》</p> <ul style="list-style-type: none"> その時刻に合わせて自宅待機(少なくとも10分前には待機)しているが、20分も早く帰ってくることがある。その場合バスを待たせることもあり、申し訳ない気持ちから精神的に負担になる。これから冬になり時刻通りにバスを運用することは難しいし、卒業まで半年と考えれば許容範囲ではある。また、それを負担と思わない人も一定数いるとも考えている。ただ、定刻または遅れる分には問題ないと考える保護者が多数と思われるので、検討していただけるのであれば今後の議題として取り上げてもらえたらありがたい。
2	<ul style="list-style-type: none"> 強いて言えば行き帰りのバス時間、曜日や日によってお休みが多かったりすると、その分早まるから帰りの時に何十分も早くつきそうとわかった時点で連絡して欲しいです…
園から	<p>《バスの下校時間について》</p> <ul style="list-style-type: none"> バス運行に関して、定時運行を目指しておりますが、当日の利用人数の増減や道路状況により、到着時刻が前後する場合があります。ご迷惑をおかけしておりますことをお詫び申し上げます。 今後、降園時にバス停への到着が早まる可能性がある場合には、朝の時点でバス乗務員から口頭で保護者の皆様にお知らせいたします。 これからの降雪期には、気象や路面状況、除排雪の影響によりバスの遅延や運休が発生する可能性が予想されます。バスの運行状況は「バスキャッチ」アプリでご確認いただきますようお願い申し上げます。また、降雪によりバス停の変更をお願いする場合もございます。その際にはご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。
3	<p>《認定こども園の移行について》</p> <ul style="list-style-type: none"> こども園への移行は不安なことが沢山あるので、早く決定内容を詳しく伝えてほしいです。子ども達へマイナスな影響がないようにお願いします。
4	<ul style="list-style-type: none"> こども園の移行に関して、保育料や保育時間の変更など、重要な変更に関しては各自で確認するだけでなく周知があると嬉しかったなと思いました。周囲の親御さんとお話をした時に把握していない方が多いなと感じたもので…。一過性のものですし、書く必要はないかなと思いましたが念のため記入いたしました。
5	<ul style="list-style-type: none"> 今の幼稚園としての雰囲気や対応は素晴らしいと感じており、子どももそんな幼稚園が大好きのようなので、今回の認定こども園化でどのような影響があるのか分からないが、ソフト面・ハード面共これまでの良さはぜひ継承していただきたいと思う。
園から	<p>《認定こども園の移行について》</p> <ul style="list-style-type: none"> P13にも記載しましたが、認定こども園への移行に関する主な内容については、10月11日に配布した資料と動画にてお知らせしております。 給食費などの詳細については、年度末に教育説明会を開催し、移行に関わる内容につきましてもご説明いたします。地域や保護者の皆様には改めてご案内いたしますので、ぜひ多数の皆様のご出席をお願いいたします。 また、移行について新たな情報が判明した場合には随時お知らせいたします。ご不明な点がございましたら、現時点でお答えできる範囲で対応いたしますので、お気軽に園までお問い合わせください。 認定こども園への移行に際し、教育や保育がどのように変化するのかについて不安を抱かれている方もいらっしゃるかと思います。当園では、認定こども園化に向けて『継承と創造』をテーマに掲げ、これまでのきよた幼稚園のよさを引き継ぎつつ、未来を担う子どもたちのより良い成長を促す教育を創造するために様々な検討を進めています。これらに関しましても、教育説明会にてご説明いたします。



きよた幼稚園のもっと良くしたいところ、改善すべきところがありましたらお書きください

6	<p>《保育棟の増設と園庭について》</p> <ul style="list-style-type: none"> 認定こども園になるにあたって園庭が狭くなってしまうのは仕方ないのですが、その分体を動かしたり、戸外で遊ぶ機会が減らないような対策など考えて頂ければと思います。
7	<ul style="list-style-type: none"> とても魅力だと感じていたお山や園庭が狭くなるのがとても残念なので、狭くなくても工事前にできていた運動量をキープしつつ遊びの工夫もしていただけると嬉しいです。
園から	<p>《保育棟の増設と園庭について》</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育棟の増設に伴い、従来よりも園庭は狭くなりますが、運動会を実施できる程度の広さは確保できる予定です。また、お山は、増改築工事完了後は、元の状態で遊ぶことが可能です。今後も園庭の整備を継続し、当園の目指す子どもの姿である「のびのびとあそびまなぶ」を具現化する教育・保育に努めてまいります。
8	<p>《自園給食について》</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部の給食ではなく自園給食になるのはありがたいですが、週5の給食費が負担になる家庭は多いのかと思いました。
園から	<p>《自園給食について》</p> <ul style="list-style-type: none"> 認定こども園の7月開園に伴い、当園では調理室で調理した給食を毎日提供する完全給食を基本とする旨を10月11日付でお伝えしました。その際、給食費が高くなるのお問い合わせをいただきました。これを受けて、11月7日付で給食費の予想価格、完全給食を導入する理由、および給食の内容についてお知らせいたしました。 現在の幼稚園における給食提供回数は年間90回ですが、認定こども園に移行後は、1号認定園児（月曜日から金曜日の登園）の給食提供回数が年間170回になる見込みです。提供回数の増加に伴い、給食費はおおよそ5,350円（12ヶ月均等払い）となる見込みです。 そのため、現在「デイサービスの利用で欠席する」「長期欠席する」「お弁当を持参したい」と考えている方には、事前に給食不要日を申請いただくことで、その分の給食費を減額できるよう検討しております。 ただし、給食不要者が増えると、給食調理にかかる一人当たりのコストが上昇し、結果として給食費の値上がりにつながる可能性があります。つきましては、可能な範囲で完全給食へのご理解とご協力をお願い申し上げます。 なお、給食費や給食の内容に関する詳細については、年度末の教育説明会でお知らせいたします。
9	<p>《発表会・運動会での代表挨拶について》</p> <ul style="list-style-type: none"> 発表会や運動会などで代表の子が選ばれ、前に出て挨拶をすることがありますが、そういう経験は一人一人の自信にも繋がると思うので、人数が多くて難しいと思いますがみんなが経験できるような場が出来ればと思いました。
園	<p>《運動会での代表挨拶について》</p> <ul style="list-style-type: none"> 発表会や運動会における代表挨拶は、現状の人数に基づいて実施することを考えています。ご理解いただけますようお願い申し上げます。 ただし、日々の保育においては、子ども一人一人が役割を果たし、達成感を得られる機会を充実させていく所存です。



10	<p>《写真販売について》</p> <ul style="list-style-type: none"> 写真はダウンロードではなく写真をもらった時の方が嬉しかったです。
園	<p>《写真販売について》</p> <ul style="list-style-type: none"> 業者撮影の行事写真につきましては、ダウンロード販売とさせていただいております。ご了承ください。
11	<p>《幼稚園の教育・保育について》</p> <ul style="list-style-type: none"> 読み書きやスポーツをもう少し充実してほしいです。 放課後に個人で習うのではなく日常の園生活の中でももう少しウェイトを増やしてもらえるとメリハリ?がついたり、身につくことも多くなるのかな、と感じます。 プールの時間や、スポーツの時間がもう少し増えるといいのかなと思いました。
園から	<p>《幼稚園の教育・保育について》</p> <ul style="list-style-type: none"> 確かに近隣の幼稚園やこども園では、読み書きやスポーツなど小学校の内容を先取りした教育に力を入れている園もあります。しかし、当園では保護者の皆様からのご要望を真摯に受け止めつつも、幼稚園教育要領に示されている「子どもたちの思いや考え、願いを尊重し、子どもたちが『自らやってみたい』と目を輝かせ、夢中になって遊んだり活動したりする経験」を大切にしたい保育実践を行っていきたくと考えております。 こうした経験を積むことが、小学校以降の学びの基礎となる知識や理解、思考力、判断力、表現力、さらに学びに向かう意欲や態度を育む上で、とても重要であると考えているからです。 読み書きや数字についても、子どもたちの興味・関心に応じて、設定保育の遊びを通して文字や数に触れる機会を設けています。たとえば「文字と線遊び（年長）」では、鉛筆の正しい持ち方や線の書き方、ひらがな遊びを行い、さらに「郵便屋さんごっこ」などに発展させ、はがきを書いて配り合う経験を楽しみます。遊びを中心としているため、長時間にわたる教え込みや習熟を目指すものではありませんが、「ひらがなや数字が読めるよ!」という自信や「勉強っておもしろい」という気持ちを育むことで、小学校入学への橋渡しをしていきたいと考えております。 つきましては、現時点では読み書きやスポーツに、今以上に重点を置いた保育の実施は考えておりませんこと、ご理解賜りますようお願い申し上げます。
11	<p>《ハロウィンについて》</p> <ul style="list-style-type: none"> ハロウィンイベントをやってほしい
園から	<p>《ハロウィンについて》</p> <ul style="list-style-type: none"> ハロウィンのイベントを園全体で行う計画はありませんが、前述のとおり、子どもたちの考えや思い、願いを尊重した保育活動の中で、いくつかのクラスではハロウィンに関連した活動を実施しております。このように、園全体での行事で行うのではなく、クラス独自の活動も大切にしていける幼稚園でありたいと考えております。



12	<p>《お泊まり会について》</p> <ul style="list-style-type: none"> 年長さんの「すぺしゃるでー」を泊まり込みにして欲しい
園 か ら	<p>《お泊まり会について》</p> <ul style="list-style-type: none"> 年長児のお泊まり会につきましては、以前は実施しておりましたが、コロナ禍を機に宿泊を伴わない「すぺしゃるでー」に再構成して実施しております。この「すぺしゃるでー」は宿泊をしないこと以外は、以前のお泊まり会と大きな変更はありません。 子どもたちが一晩を幼稚園で共に過ごし就寝することは、多くの子どもたちにとって大きな思い出になるかと思いますが、一方で宿泊が難しい子どもたちも増えてきております。 また、土日を利用した勤務により職員の負担が増えることから、今後もお泊まり会の実施は行わない予定です。ご理解賜りますようお願いいたします。
13	<p>《感染症のお知らせについて》</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染症が出た時にメール等で教えていただけると、病院に行った際に、幼稚園で流行っている病気は何かを聞かれるので、答えやすいです。(そのようなシステムがもうあるのであれば、申し訳ありません。)
園 か ら	<p>《感染症のお知らせについて》</p> <ul style="list-style-type: none"> 3学期より、「れんらくアプリ」で感染症による欠席状況をご確認いただけるように致します。アプリの使用方法については、後日改めてお伝えいたします。また、園内で感染が流行する懸念がある場合には、従来通りメールにてお知らせいたします。
14	<p>《若い先生への指導・助言の体制について》</p> <ul style="list-style-type: none"> 若い先生が多いのもあるのか、子どもの発達やトラブルに関して対応に困っている印象です。多種多様なので難しいところではありますが、ベテランの先生から若い先生へのアドバイス等相談しやすい環境ではないのかなど思ったりもします。
園 か ら	<p>《若い先生への指導・助言の体制について》</p> <ul style="list-style-type: none"> 貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。当園では、若手教員が子どもたちの発達やトラブル対応等に悩んだ際、すぐに相談できる体制づくりを重視しております。先輩教員や管理職が適切なアドバイスを行うほか、定期的な研修やミーティングを通して保育や指導方法について具体的な指導を行っています。こうした体制のもと、若手教員も経験を積みながら、より質の高い保育を提供できるよう園全体で支援しております。 しかしながら、今後も若手職員が対応に苦慮している状況が見受けられた際には、ぜひ教頭までお知らせください。いただいたご意見を大切に、さらに若手職員への支援の充実に努めてまいります。引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。
15	<p>《保護者からの連絡方法について》</p> <ul style="list-style-type: none"> 親から先生にこどものちょっとした様子を伝えることができる手段がもっとあったら嬉しいです。(朝少し元気がなかった、便秘気味です、など)お電話するほどではない事もお伝えできたらなぁと思います。
園 か ら	<p>・昨年度の学校評価の報告書でも書きましたがれんらくアプリの『欠席・バス不要連絡』を使って、保護者から幼稚園への連絡ができます。周知が徹底しておりませんでしたことをお詫びいたします。今後は、この機能を使って、連絡していただけますようお願いいたします。</p> <p>《連絡の仕方》</p> <p>①『欠席・バス不要連絡』を開く ②日付を選択する ③バス送迎の下の「理由を選択してください(必須)」で【その他】を選択する ④連絡事項記入の欄に記入する ⑤「連絡する」の青ボタンを押す ※出席・バス送迎「いる」のままで送信して構いません。</p>

16	<p>《先生方の負担超過について》</p> <ul style="list-style-type: none"> • いつもお世話になっており、大変感謝しております。その反面、先生方の負担が多いように、感じています。今は工事が始まったからわかりませんが、会議が遅くまで行われていたり、運動会や発表会などの行事が近くなると、ほんとに大変そうだと思います。 • 子どもたちが、「のびのびとあそびまなぶ」ためには、先生方が毎日笑顔で元気に、子ども達に関わってくださることが、一番ありがたいですし、子ども達にも先生方にとって一番大切なことなのかなと思います。 • 運動会も発表会も、衣装や物作りが、とても大変そうに思います。とても素敵な衣装で、本当に有難いですが、先生方の勤務時間の中でできることなのでしょう。 • 子どもと一緒に作ったり、保護者に用意してもらったりしてもいいと思います。 • 毎年、踊りや劇が同じでもいいと思いますし、年長さんになれば、あの劇や踊りができる！という憧れにもなると思います。踊りや劇が一本化されれば先生方の負担も減るのではないのでしょうか。 • 今年はあるかないかがわかりませんが、発表会の合間にあった動画再生もなくいいと思います。園長先生がそのタイミングでお話されるとか、保護者は大人ですから、静かに待てると思います。着替えをしているということも、容易に想像できます。 • 動画の作成が得意な方もいらっしゃると思いますが、不得意の先生方や遅くまで残っていらっしゃる先生方、負担に感じている先生方がいないのか心配になります。 • 認定こども園になることをきっかけとして働き方改革を行えるところは、行ってほしいです。何よりも先生方が元気に笑顔で、長く働きたいと思える勤務先であってほしいと願います。
17	<ul style="list-style-type: none"> • 先生方がお休みを取れる範囲で取ったり、残業をあまりせず早く帰れているでしょうか？子ども達と遊ぶのは体力も怪我などへの配慮も必要な中、いつも明るく元気に遊んでいる先生方には日々感謝しています。先生方の心身の健康はひいては子ども達の楽しい園生活に繋がると思いますが、先生方が頑張り過ぎていないといいです。
園から	<ul style="list-style-type: none"> • 職員への温かいご配慮、誠にありがとうございます。前述しましたが、当園においては、教職員の長時間労働や持ち帰り仕事の増加が深刻な課題として浮上しています。 • 現在、常勤職員の勤務時間は8:15から17:15ですが、鍵開けやバス乗務のための出勤は7時頃となっています。また、退勤時刻はおおむね18時半頃であり、年度初めや年度末、発表会や運動会などの繁忙期には19時を過ぎることも珍しくありません。その間、休憩時間をほとんど取ることができないのが実情です。 • さらに、教員にとって最も重要な保育の教材研究は、自宅に持ち帰る仕事として日常化しています。このような職場環境は、保育士業界において若手職員の早期離職を招く要因の一つとされています。 • このような状況に対処するため、当園では教育・保育の質を維持しつつ、業務の精選やICTの活用を通じた業務効率化に努めています。今後、認定こども園として開所時間が7:00から19:00の12時間に拡大されるため、さらなる勤務過多が懸念されています。そのため、行事のあり方を見直したり、チーム保育の導入など、さまざまな対策を検討中です。 • ご指摘の通り、子どもたちと向き合う教職員が疲弊している状況では、質の高い教育・保育は実現できません。教職員の働き方改革には、保護者の皆様の理解と協力が不可欠です。今後、皆様をお願いすることもあるかと思いますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。 • なお、発表会での幕間における子どもたちの取り組みの紹介については、簡素化しつつも継続していきたいと考えています。私たちが発表会で最も重視しているのは、本番の成果ではなく、練習を通して子どもたち一人一人が成長することです。その子どもたちの練習の様子を感じながら当日の発表をご覧いただきたいと思っております。



18	<p>《駐車場について》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車スペースが少なくなり、今後雪が降ると更にスペースが減ると思います。混んでいる時は小グラウンドも使えるようにして頂けるとありがたいです。
園から	<p>《駐車場について》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行事などの際、バス巡回場や園庭を駐車場として利用できない期間は、小グラウンド（陶芸小屋のある場所）も可能な範囲で除雪し、駐車できるようにする予定です。
19	<p>《園の様子を知るしくみについて》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ もう少し園での様子が知れるような仕組みがあると良いなと思いました。
園から	<p>《園の様子を知るしくみについて》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 園では、行事として参観日を設けておりますが、その他の日にお子様の様子をご覧になりたい場合は、ぜひ園にご連絡の上、参観していただいて構いません。お時間がある際には、ぜひお越しいただけますと幸いです。 ・ なお、認定こども園開園後には、玄関ホールに大型モニターを設置し、各クラスの監視カメラの映像を見ただけにする予定です。
20	<p>《卒園後も繋がりのある幼稚園》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 改善すべき点ではなく、今後も「のびのびとあそびまなぶ」のテーマを大切に子どもたちが毎日思いっきり遊べる環境を引き続きお願い致します。 ・ 幼稚園時代にたくさんの遊びの中から、色々なことを吸収し、成長できるように今後も見守っていただきたいです。 ・ そして、卒園しても実家に帰って来る感覚でいつまでも園と繋がりがもてる環境があれば親も子もうれしいです…。
園から	<p>《卒園後も繋がりのある幼稚園》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ きよた幼稚園は、認定こども園としての開園後も「のびのびとあそびまなぶ」を目指す子どもの姿とし、子どもたちが「自らやってみたい」と目を輝かせながら、夢中になって遊びや活動に取り組む経験を通じて、未来をたくましく生き抜く次世代の子どもたちを育成していきたいと考えています。 ・ また、卒園後も特別な行事に限らず、「ちょっと行ってみようかな」と気軽に訪れていただけるような温かな雰囲気幼稚園を目指しています。お子様が卒園した後も、ぜひお気軽にきよた幼稚園に足を運んでいただければと思います

《幼稚園から》

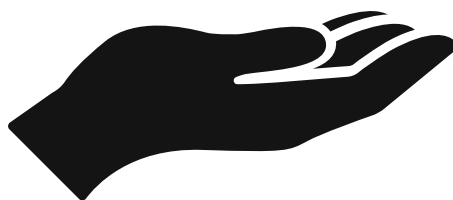
- ・ さまざまご指摘をいただき、誠にありがとうございます。皆様のご意見は、当園の教育および保育の質を向上させるために大変貴重なものです。
- ・ 今後とも、気になる点やご要望がございましたら、どうぞお気軽に園にお知らせください。すべてのご要望にお応えすることは難しい場合もございますが、最善を尽くして対応いたします。





きよた幼稚園

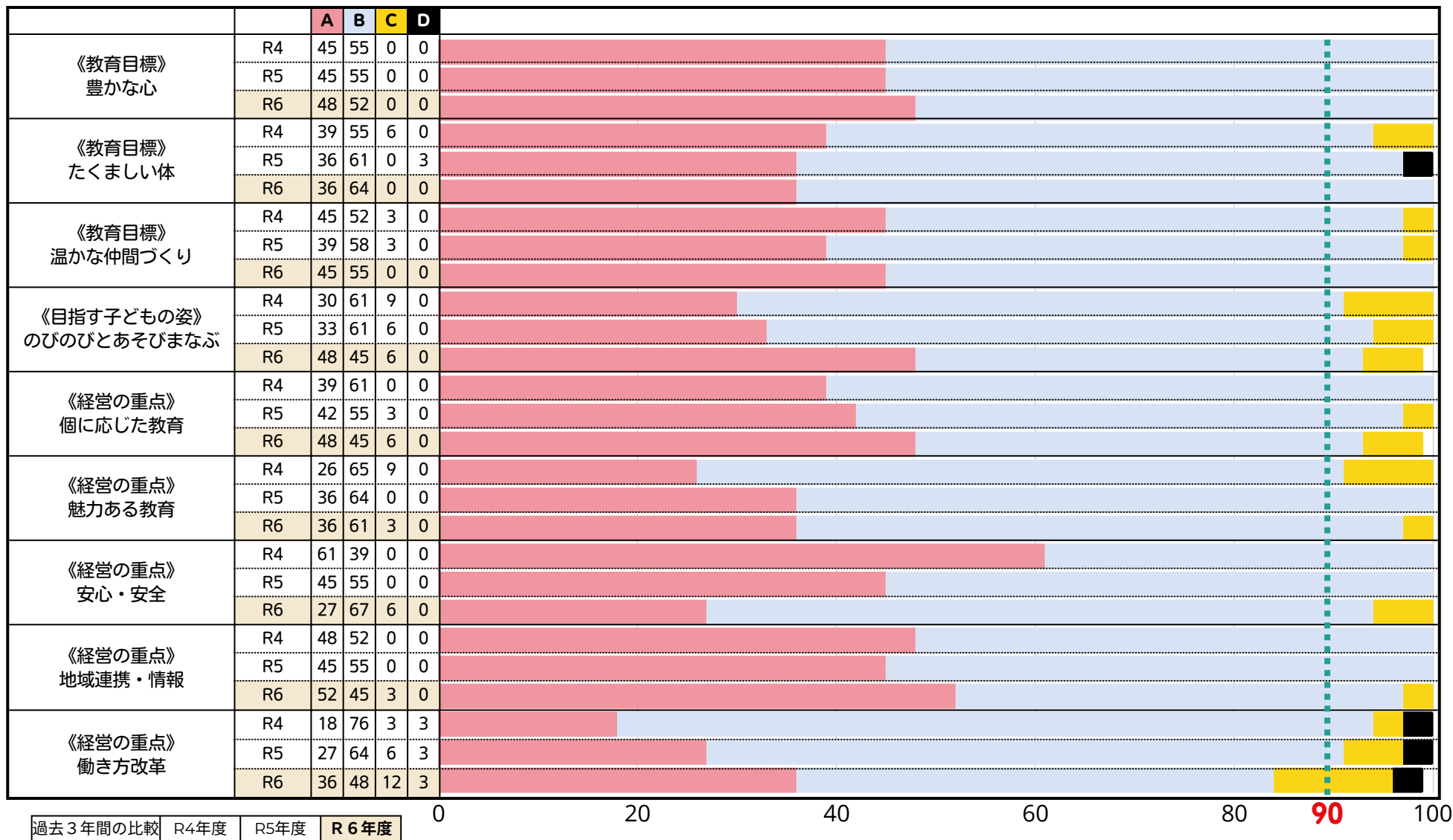
KIYOTA YOUCHIEN



令和6年度教職員アンケート報告書 (詳細版)




教職員アンケートの集計結果から



- 例年と同様に、教育目標および経営の重点に関する多くの設問で、AおよびBの評価が90%を超え、多くの職員が全体的に良好だと考えています。
- また、3年間の経年変化を見ると、多くの評価項目において、A評価がわずかに増加しています。
- ただし、働き方改革に関しては、A評価が増加した一方でB評価が減少し、AとBの合計は90%を下回りました。



No	設問 1 学校教育目標 〔豊かな心づくり〕 やさしく思いやりのある子ども	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> A B C D </div>
		
1	<ul style="list-style-type: none"> 子ども同士で、お友だちを、けなすような言葉を使ってしまった時、先生方が聞きもらさず、「自分が言われたらどう?」「こう伝えたら良いんじゃないかな?」と、一つ一つ対応したりしている環境が素敵だな。と思っています。 	
2	<ul style="list-style-type: none"> 子どもは大人の姿を見て育つと思うので、自分自身常にやさしく思いやりのある言動を心がけていきたいです。 	
3	<ul style="list-style-type: none"> 日々の先生方の声かけによって、優しい心が育まれていると思う。 	
4	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちと接する教職員一人一人の言動は、幼稚園での保育環境を構成する重要な要素です。その中で、職員全体の子どもたちへの対応や声掛けが、以前よりも受容的で好意的な表現が増えてきていると感じています。逆に、「禁止ワード」や「否定的な言い方」が減少しているように思います。やさしく好意的な環境に浸ることは、子どもたちの成長だけではなく、人間にとって非常に大切なことだと考えています。 	
5	<ul style="list-style-type: none"> 満3やりんご組がこども達の中でも浸透した事で小さい子や泣いている子に目を向ける姿が多くなっていると思います。 	
6	<ul style="list-style-type: none"> ケンカもしますが、仲直りする様子を見ていると気持ちの優しい子が多いと思います。 	
7	<ul style="list-style-type: none"> 満3歳やりんご組と関わる事で思いやりの気持ちが育ち、他の縦割りや学年でも友だちのことを考える姿が増えてきていると思う 	
8	<ul style="list-style-type: none"> 小さい子に優しくしてあげたいなど相手を思いやろうとする姿が見られる。大きい子のそんな姿を見て、小さい子が大きくなった時に、同じように優しくしてあげる優しい気持ちが、このまま引き継がれていくといいなと思います。 	
9	<ul style="list-style-type: none"> きつい言葉を「ちくちく言葉」として子ども達に伝えるのは良いアイデアだと思います。 	

見解	<ol style="list-style-type: none"> 一人一人への丁寧な対応：子どもが友だちにきつい言葉を使った際、先生が「自分が言われたらどう?」と問いかけ、より良い伝え方を提案するなど、思いやりの心を育む工夫をしています。 模範としての教職員：教職員が優しさと思いやりのある言動を心がけ、子どもたちがそれを見て育つ環境が整っています。 肯定的な声かけ：教職員の声かけにより、子どもたちの優しい心が育まれ、以前よりも受容的で好意的な表現が増えていると感じられます。 「ちくちく言葉」の活用：「きつい言葉」を「ちくちく言葉」として伝えることで、優しい言葉遣いの意識を高めています。 縦割り保育での思いやり：年齢が異なるクラスでの交流を通じ、年上の子どもが小さい子に優しく接する場面が増え、思いやりの心が育まれています。
----	--



No	設問2 学校教育目標 〔たくましい体づくり〕 あきらめずに取り組むたくましく健康な体	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> ■ A ■ B ■ C ■ D </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 5px;"> <div style="width: 36%; height: 20px; background-color: #e91e63; border: 1px solid black;"></div> <div style="width: 64%; height: 20px; background-color: #b3e5fc; border: 1px solid black;"></div> </div>
1	<ul style="list-style-type: none"> 縄跳び、どんぐりタワー、ストライダーなど、すぐには上手に出来ないことも友だちや先生の助言を受けながら、諦めずに取り組むことができる環境があると思う。 	
2	<ul style="list-style-type: none"> 走ったり のぼったり等の体を動かす遊びが苦手な子に対して、体のつくり方や楽しさの伝え方などをもっと勉強する必要があると感じています。 	
3	<ul style="list-style-type: none"> 縄跳びががんばり表を通して苦手な子もチャレンジしてみようと思えたり、シールがたくさんたまっていく事に喜んでいる様子も見られて良かったと思います。 	
4	<ul style="list-style-type: none"> どんぐりタワーのブランコも新しくなり、ますます子ども自身が自分の力を考えながら色々なことに挑戦してあそんでいると思う。 	
5	<ul style="list-style-type: none"> 園庭の遊具、冬の雪遊び、スポーツ教室、縄跳びの取組など、体づくりの遊びは充実してきていると思います。ただ、難しいことに対して、継続して挑戦するようなしかけや環境を工夫していけたらと考えています。 	
6	<ul style="list-style-type: none"> 外の遊具では、お兄さん・お姉さんの真似をして、小さい学年も頑張っている様子が見られますが、中あそびや、折り紙では途中で「もうやーめた」という声が聞かれるので、「楽しく、でも少し難しいチャレンジできる遊びを考えられたら良いな。」と思います。 	
7	<ul style="list-style-type: none"> 特に運動会や発表会など、大きな行事を通して練習に取り組む中で諦めない心が育っているので、今後も行事は無くしたくない。 	
8	<ul style="list-style-type: none"> 遊具で遊ぶ時、散歩の時など先生は子どもを思い遣り励ますし、子どもも頑張っています。 	
9	<ul style="list-style-type: none"> ストライダーも取り入れたことで、より体を動かすことができるようになってきたと思います！ 	
10	<ul style="list-style-type: none"> どんぐりタワーやブランコの、敢えて手伝わず見守る というのが先生方の中でも徹底されているので、一度で出来ない子は何度も挑戦し、どうしたら出来るようになるか一生懸命考える姿が多く見られています。 	

見解	<ol style="list-style-type: none"> 自分で挑戦する機会の提供：遊具の使用で敢えて手伝わずに見守る方針が徹底され、子どもが自分で考え、何度も挑戦する姿が見られます。 大きな行事での粘り強さ：運動会や発表会などの行事を通じて、諦めない心が育まれており、行事の継続が重要。 遊具やスポーツの多様性：どんぐりタワー、縄跳び、ストライダーなどを取り入れることで、運動機会が増え、友だちや先生の助けを受けながら諦めずに取り組む環境が整っています。 苦手意識のサポート：体を動かすことが苦手な子に対して、体づくりの楽しさを教える技術を習得する努力が必要。 新しい遊具と工夫：新しいブランコや季節ごとの雪遊びなど、体力作りを意識した遊具や活動が充実している。さらに継続して挑戦できる新しい環境構成や仕掛けの工夫を図りたい。
----	---



No	設問3 学校教育目標 〔あたたかな仲間づくり〕 みんなと活動することを通して協力できる	■ A ■ B ■ C ■ D
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行事を重ねるごとに、クラスで協力する姿が、「特に年長さんでは、よく見られるな。」と思います。また、子どもたちだけではなく、先生方も協力的で、チーム保育で自分も助けていただいているなど感じるので、そんな姿を子どもたちに見せられるのも素敵だと思います。 	
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個々のクラス活動によってできていると思う。 	
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先生方が子ども達一人一人に丁寧に対応している姿を多くみかける。とても素晴らしい事だと思う。 	
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ クラスの話し合いで製作や料理を決めているところをたくさん見ました。準備の過程から大事にしている様子が見られて良かったと思います。 	
5	<ul style="list-style-type: none"> ・ クラスの活動の中で、話し合いの場を多く設けていたり、話し合いで決めた事に取り組む活動が増え、目的がこども達の中で明確になり達成する事を楽しむ姿が見られる。 	
6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各学年それぞれの成長に応じて みんなで力を合わせて取り組む活動を行なっていると思います。 ・ 満3は『みんなで協力する』ことは まだ難しいのですが、『みんなで一緒に楽しむ』活動を多く取り入れるようにしています。 	
7	<ul style="list-style-type: none"> ・ クラス裁量の活動も増え、子ども中心の保育が浸透してきたように感じます。 	
8	<ul style="list-style-type: none"> ・ クラスやバス・たんぼぼなど知っているお友だちだけでなく、同じ遊びをしている仲間と協力している姿を多く見るようになったと思う(遊び場所が小さくなったので、触れ合う機会も増えたからかも) 	
9	<ul style="list-style-type: none"> ・ クラスでは運動会、発表会などの活動の中で友だちと協力する機会を設けています。 	
10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新しい砂場のおもちゃなど、うまくいかない時はどうしたらうまくいくか考え、何度もチャレンジし、上手くできた子はコツを伝授するといったように子ども同士で協力しながら遊んでいると思う。 	
11	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年齢が増すごとに協力して行う事が増え、協力して出来る事が増えているようです。 	
12	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先生がいなくとも子どもたちだけでおにを決めておにごっこを始めたり、おにになりたくないお友達がいたらどうしたらいいか相談しあったり、いろいろな事にチャレンジして少しずつでも出来るようになってと頑張っている姿を見て、育っていると感じた。 ・ まだみんなの心には届いていないかもしれませんが、先生たちの思いは同じ方に向かっていていると思います。 	
13	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発表会や運動会などで、年中や年長のように「クラスみんなで」という大きな集団で一つの目標に向かって活動することは、年少児以下には難しいかもしれませんが、しかし、年少児以下の子どもたちが、〇〇くんや△△さんといった2人組で関わり合う経験は、将来大きな集団で活動する際の土台となります。少人数で話し合ったり遊んだりする経験を大切に、継続的に保育に取り入れることが重要だと考えています。 	

見解	<ol style="list-style-type: none"> 1.年齢・成長に応じた協力の促進：年長児ではクラス全体で協力する姿が多く見られ、年少児以下でも少人数での協力や遊びの経験を通じて協力する心の基礎が育まれています。 2.行事・クラス活動での協力：運動会や発表会などの行事やクラス活動を通して、子どもたちが協力する機会が多く設けられ、目標に向かって協力し合う姿勢が養われています。 3.先生方のチーム保育と見本：先生たちもチームで話し合い、その姿が子どもたちへの良いお手本となっています。 4.話し合いの場の設置：クラス内で話し合いを通じて活動内容を決めたり、計画の過程から協力して準備する場が増えているため、目的意識が生まれ、達成感を楽しむ姿が見られています。 5.遊びや日常の協力場面：おにごっこや砂場遊びなど、日常の遊びの中で子ども同士が相談し、問題解決やコツの伝授をしながら協力している様子が見られています。
----	---



No	設問4 目指す子どもの姿 〔のびのびとあそびまなぶ〕 自ら主体的に夢中になって遊び、充実感や達成感を味わう	A	B	C	D
		48%	45%	6%	
1	私の力不足ではありますが、活動に気が向かない子もいる中で活動を進めるにあたって、子どものほうから保育者の進めたいことへ寄り添ってあげている部分を感じることがあります。				
2	決まった製作やなんとなく続いていたものを新しく変えることができきて、少しずつ理想的な子ども主体の保育に近づいてきていると思います。				
3	2年ほど前、新聞紙を使った『なりきり海賊ごっこ』に夢中になる子ども達の姿を思い出しました				
4	先生たちは、「のびのびとあそびまなぶ」を念頭におき、日々保育を行っていると思います。				
5	先生たちが意識して保育を行っていると思います。自分としては、「子どもの思いを汲み取ってあげているのか」「これで良いのか」と日々悩みながら保育をしています。				
6	子どもたちが力を合わせて作った大道具を使用して発表会をするなど、子どもたちが一体となって活動に参加できるよう先生たちが工夫していて素敵だと思う。				
7	「子どもたちの思いを汲み取るとはどういう事なのか」、「自分は子どもたちの充実感や達成感より結果を重視してはいないか」反省することがあります。				
8	日々の保育の中でも「どうしたら良いと思う?」や「自分で考えてごらん」と、すぐに答えを出さないよう心がけています。ですが「給食のデザートは一番最後に食べる」や、給食後、遊び始める時「いいですか」と、先生に聞くというルールなどが、いらないのではないかと考えています。				
9	まだまだ研究が必要だと思えますが、『きよたっこでー』などの活動を通して先生方の意識も良い方向に変化しているように感じます。				
10	少しずつ保育の内容が変化しているのを感じているので、今後も自らが夢中になる環境や保育を考えていきたい。				
11	お部屋や自由遊びの環境は、まだまだ充実しているとは言えないので、玩具のバリエーションが増えたらいいなと思います。				
12	クラス活動では夢中になるものが増えてきたと思いますが、自由遊びを見ているともっといい環境作りができるとおもいます。(特に中遊び)				
13	子どもたちの考えをくみ取りながら保育を實踐できる環境が少しずつ整い、それに取り組む先生方が増えてきていることは非常に喜ばしいことです。しかし、子どもたちが本当に夢中になって取り組みたい活動は、先生も一緒にすごく楽しんでいる活動だと思います。したがって、子どもの意図をくみ取りつつも、先生方自身の「やりたい」が溢れる実践をさらに期待しています。				


※『きよたっこでー』とは：通常の設定保育を行わないで、登園からお昼までの3時間ほどの時間内で、子どもたちが連続して好きな遊びを行う日です。先生方にとっては、「子どもたちが“のびのびと夢中になって遊べる環境構成”」のアイデアや工夫が求められます。



No	設問4 目指す子どもの姿 〔のびのびとあそび まなぶ〕 自ら主体的に夢中になって遊び、充実感や達成感を味わう	■ A ■ B ■ C ■ D

見 解	<p>以下のような成果を挙げていると考えられます。</p> <p>《子ども主体の保育の推進》</p> <ul style="list-style-type: none"> 教職員が子どもの主体性を重視する保育に徐々に変化している点は大きな成果です。保育活動が子どもたちの「やりたい」「夢中になりたい」と感じるものにより寄り添う方向に進み、教師もまた、子どもたちと共に楽しむ姿勢を意識し始めています。 <p>《子どもの思いを汲み取る姿勢の浸透》</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育者が「どうしたら良いと思う?」「自分で考えてみてね」など、答えをすぐに教えない工夫をしていることにより、子どもたちが自ら考える力を育む保育が定着しつつあります。子どもたちが自身の考えや意見を表現できるようになってきている点は、教育効果として評価できます。 <p>《環境改善への前向きな姿勢》</p> <ul style="list-style-type: none"> クラス活動や「きよたっこでー」など、先生方が試行錯誤しながら工夫した活動が子どもたちの興味や関心を引き出している点が成果です。また、今後さらに自由遊びや室内環境を充実させたいと考える姿勢があることは、保育環境が日々進化し続けている証拠です。 <p>《教職員の保育意識の向上》</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもと一緒に学び遊ぶ保育の姿勢が広がり、教職員間での意識の向上が見られることも大きな成果です。「のびのびとあそびまなぶ」ことをテーマに、子どもたちと関わりながら保育を進める取り組みが積極的に行われています。
	<p>反対に以下の点については、今後改善の余地があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 保育環境の整備不足 <ul style="list-style-type: none"> 自由遊びの環境や玩具のバリエーションがまだ十分に充実していない点が挙げられます。子どもたちがもっと夢中になって遊べる環境づくりのために、遊具やおもちゃの種類を増やしたり、遊びのスペースを工夫したりする改善が求められています。 ルールや決まり事の再評価 <ul style="list-style-type: none"> 給食の際の順番や活動開始時の許可など、子どもたちの主体性を制限するルールが残っているため、その必要性を見直すことが課題です。子どもたちが自発的に行動できるよう、ルールをより柔軟にし、主体性を尊重する環境づくりが求められます。 子どもの充実感と達成感への配慮 <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが充実感や達成感を得られる保育活動になっているかを振り返り、活動の成果や結果よりも過程を重視する意識を徹底することが課題です。特に、教師が活動の「結果」を優先しがちな場面を減らし、子どもたちが取り組みの過程を楽しめるような支援が重要です。 教職員間の意識統一とスキル向上 <ul style="list-style-type: none"> 子ども主体の保育を進める上で、全教職員が同じ意識を持ち、実践できるようにすることが課題です。特に、「子どもの思いを汲み取ることがどういった行動につながるのか」を教職員間で共有し、意識やスキルの向上を図るための研修や話し合いの場が必要です。



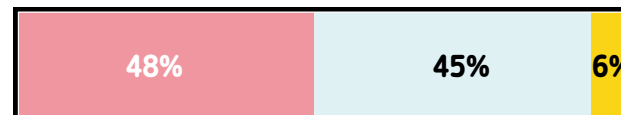
No	設問5 経営の重点 〔個に応じた教育の充実〕園児一人一人を大切に、のびのびと活動できる幼稚園 個に応じた指導や支援	<div style="text-align: right;"> ■ A ■ B ■ C ■ D </div> 
1	<ul style="list-style-type: none"> 「早くしなさい」と焦らせたり、「みんなみたいにできない」といった、誰かと比べたりする言葉を使う先生がいないのが良いと思います。ニコニコと笑って、その子・その子の特性を、ゆったりと見ている感じがします。 	
2	<ul style="list-style-type: none"> ポートフォリオを行う中で、一人一人と向き合ってその子のことを考える時間を、しっかり持っていたり、支援が必要な子への援助も充実していると思う。 	
3	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援委員会や、日々の中で支援方法について情報共有できる場が以前より増えて、悩みを相談できたり現状を客観的に見てもらえたりするのがいいなと思います。 	
4	<ul style="list-style-type: none"> クラスの中に補助の先生がいたり、大きな行事の前は特定の先生がつくことで、担任の先生と個に応じた支援や指導を案を出し合い考えていける環境がいい。 	
5	<ul style="list-style-type: none"> 先生方は活動によって個人に合わせた目標を立てて、達成できるよう努めていると思います。 	
6	<ul style="list-style-type: none"> 担任の先生がきめ細やかな保育をしており、活動の内容に応じて補助が入ることもあり、一人一人をととても大切にしていると思う。 支援が必要な子に対しても個々の発達段階に応じた対応がなされていると思う。 	
7	<ul style="list-style-type: none"> 支援が必要な子について、なるべく固定の先生をつけることで、その子の個性や特性、思いをくみ取り活動できていると思います。 	
8	<ul style="list-style-type: none"> どうしたらその子にとって良い支援なのかを考え、個々への対応もしっかり行っている。職員間でも共通意識を持てるよう連携もできていると思う。 	
9	<ul style="list-style-type: none"> 担任や担当の先生たちが、子どもたちの日々の成長を意識して一人一人を見取って保育をしていると思います。 	
10	<ul style="list-style-type: none"> 職員みんなで子どもの情報を共有しながら一人一人に合わせた指導・支援ができていると思います。 	
11	<ul style="list-style-type: none"> 禁止用語が出てしまう場面もありますが、子どもたちの発達に合わせて声かけをするように心がけています。 	
12	<ul style="list-style-type: none"> 当たり前のことですが、預かり保育たんぽぽでは、一人遊び中心の満3歳児や、なかなか集団になじめない子、難しいことに挑戦したい年長児などに等しく目を配る努力をしていると思います。 	
13	<ul style="list-style-type: none"> 先生たちはクラスの子ども一人一人の性格を把握して子どもに寄り添って保育をしていると思います。 	
14	<ul style="list-style-type: none"> 当たり前のことですが、子どもの個性や発達には個人差があります。「個に応じた教育」とは、一人一人のその個性、特性や発達段階を理解し、今のその子に応じた個別最適な教育を行うことです。 「〇歳だから、こうなるべき、これができなくては困る…、できて当たり前」という考えは否定しませんが、それに捉われてしまうと「個に応じた教育」とはなり得ません。 当園においては、担任の先生方だけではなく、その他の先生や補助の先生方が「支援を要する子」に対して、受容的・好意的に見取り、支援をしているので、多くの子が不適応な状況にならずにのびのびと活動できていると思います。 今後とも、今日の前にいる子一人一人を丁寧に見取り、子ども理解に努め、教職員はもちろん関係機関や保護者との連携を充実して、一人一人を大切に保育に心がけていくことができる幼稚園であり続けたいと思います。 	



■ A ■ B ■ C ■ D

設問5 経営の重点

〔個に応じた教育の充実〕園児一人一人を大切に、のびのびと活動できる幼稚園
個に応じた指導や支援



以下の点が成果として考えられます。

1.子どもを個別に尊重する姿勢の定着

- ・教職員が子ども一人一人の特性や個性を理解し、他の子どもと比較することなく温かく見守っている点が成果です。禁止用語を避け、発達に合わせた声かけを心がけているため、子どもたちは安心してのびのびと活動に参加できています。

2.個別支援の充実

- ・特別支援委員会の設置や日常的な情報共有の場が増え、支援が必要な子へのサポート体制が整っている点も大きな成果です。固定の先生がつくことで子どもの特性をより理解しやすく、安定した支援が可能になっています。

3.職員間の協力と情報共有

- ・職員が子どもの成長や特性に関する情報を共有し合い、連携して支援や指導にあたっている点も成果です。職員全体で共通の意識を持ち、一人一人に合わせた教育・支援を行うことで、全員が子ども理解に努める姿勢が実現されています。

4.活動に応じた補助体制の活用

- ・大きな行事や活動内容に応じて補助の先生が配置されることにより、担任だけでなく他の教職員も連携して個別の支援を行える体制が整っています。この柔軟な支援体制が、子どもたちの個別ニーズに応じた教育の実現に貢献しています。

反対に以下の点が課題として考えられます

1.全職員のさらなる共通意識の形成

- ・すでに共通意識が持たれている点が成果である一方、「個に応じた教育」の具体的な進め方や考え方について、職員間でさらなる統一が求められる場面もあると考えられます。保育方針や支援の方法について研修や話し合いを重ね、全職員の意識を一層共有していくことが課題です。

2.禁止用語の見直しとさらなる徹底

- ・一部の場面で禁止用語が出てしまうことがある点は、引き続き課題です。特に焦らせる言葉や他の子どもと比較する言葉を完全になくし、より良い言葉かけを徹底するためのさらなる意識付けが必要です。

3.自由遊びや一人遊びの充実

- ・満3歳児の一人遊びや集団に馴染めない子どもに対する配慮が行われていますが、自由遊びの場で個別支援を充実させ、子ども一人一人がより主体的に遊びに参加できる環境整備が課題です。遊びの内容や環境をさらに工夫することが求められています。

4.保護者や関係機関との連携強化

- ・個別最適な教育を提供し続けるために、保護者や関係機関との連携をより充実させる必要があります。家庭での理解や協力を深めることで、園と家庭が一体となって子どもの成長を支えられるよう、連携体制をさらに強化していくことが課題です。



No	設問6 経営の重点 〔魅力ある教育の創造〕 発達段階・特性を見通した計画的で楽しい保育実践	A	B	C	D
		36%	61%	3%	
1	・行事などはまだ見直せる部分もあると思います。				
2	・特別支援教育の研修を受けるなど、子ども理解を深める努力をしている。				
3	・子どもが担任の先生に接する様子や慕う様子を見ると、楽しい保育が出来ているのだと思います。				
4	・少しずつ子ども達の思いを取り入れて活動できることが増えていると思います。				
5	・年々、各クラスでさまざまな活動が行われていて、子どもたちや担任の先生の「やりたい、やってみたい」保育が出来てきているように思う。				
6	・学年・クラスごとに、楽しい企画や新しい企画を取り入れていると思います。子どもたちから出た声を取り入れて活動しているクラスを、よく聞くので、良いなあと思います。				
7	・発達段階をや集団の特性を考えて実践していると思う。新しい取り組み時（クラス、学年、預かりなど）、ねらいや思いを職員間で共有出来るのもっといいと思います。				
8	・マンネリしたカリキュラムから脱して、目の前の子どもたちを考えた指導計画が少しずつ増えてきているように思います。安全に関する指導など、幼稚園の中で必ず指導しなければならないこともありますから、すべての保育を子どもたちの意図をくみ取るわけにはいかないのは当然ですが、今後も教育課程の見直しを継続し、よりよい実践を継続していけるようにしていきたいと考えています。				
9	・一人一人向かっている目標があり、それに向けての取り組みや支援がどうなされているのか、結果どうなったのかなど、先生たち誰が見ても分かるようになっているのもっといいと感じた				

見 解	成果として以下の点が挙げられます。
	1.子どもの思いを取り入れる活動の増加 ・子どもたちの「やりたい、やってみたい」という気持ちを取り入れた保育が増えている点が成果です。各クラスや学年で、子ども発信の活動を積極的に取り入れる姿勢が浸透しつつあり、より魅力的で子ども主体の教育が行われています。
	2.柔軟な指導計画への変化 ・マンネリ化していたカリキュラムの見直しが進み、子どもたちの発達段階や集団の特性を考慮した指導が行われるようになっています。この柔軟性が、子どもたちの意欲や興味に基づいた活動の充実につながっている点が成果です。
	3.子ども理解を深めるための取り組み ・教職員が特別支援教育に関する研修を受けるなど、子ども理解を深める努力をしている点も成果です。こうした研修が、子どもたちの特性に応じた支援や保育の質向上に寄与しています。
	4.安全指導など必須の教育内容の実施 ・幼稚園内で安全に関する指導や基本的な生活指導がきちんと行われていることも成果です。必須の教育内容を守りながらも、子どもたちの意図や興味に応じた教育が進められている点で、バランスの取れた保育が実現されています。



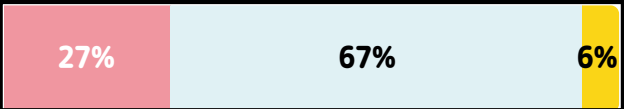
No	設問6 経営の重点 〔魅力ある教育の創造〕 発達段階・特性を見通した計画的で楽しい保育実践	<div style="text-align: right; margin-bottom: 5px;"> ■ A ■ B ■ C ■ D </div> <table border="1" style="margin-top: 5px; width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 36%; background-color: #e91e63; color: white;">36%</td> <td style="width: 61%; background-color: #a2c4c9; color: black;">61%</td> <td style="width: 3%; background-color: #ffc107; color: black;">3%</td> <td style="width: 0%; background-color: #212121; color: black;">0%</td> </tr> </table>	36%	61%	3%	0%
36%	61%	3%	0%			
見解	<p>課題としてとして以下の点が挙げられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 行事や教育課程の見直し <ul style="list-style-type: none"> • 行事などのカリキュラムにおいて、まだ見直しが必要な部分が残っているとの指摘があり、教育内容のさらなる改善が求められます。子どもたちの関心や発達により応じた行事にするために、定期的な見直しを継続することが課題です。 2. 職員間の連携強化と目標の可視化 <ul style="list-style-type: none"> • 新しい取り組みや活動のねらいや目的を職員間で共有する仕組みが不十分であることが課題です。また、一人一人の子どもの目標や支援の進捗状況を全教職員が把握できるようにするための可視化が必要です。 3. 教育内容と子ども主体の保育のバランス <ul style="list-style-type: none"> • 必須の教育内容と子ども主体の保育をバランスよく実施することが課題です。特に安全指導や基本的な生活指導も大切にしながら、子どもたちの意図をさらに取り入れられる工夫が求められます。 4. 新しい企画の導入と検討 <ul style="list-style-type: none"> • クラスごとに取り入れている新しい企画や活動がある一方で、全体の教育方針としての一貫性が課題です。企画の内容や目的を職員間で共有し、教育の質をさらに高めることが求められています 					



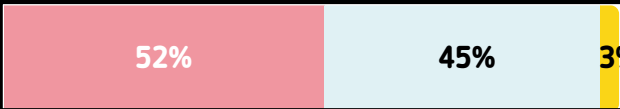
No	設問7 経営の重点 〔安心・安全な教育環境〕安全で教育環境の整った園づくり	A	B	C	D
		27%	67%	6%	
1	・今年、園の増改築があったので、なかなか環境が整っているという感じでは無かったかと思います。それでも、先生方で連携をとり、動くことはできたと思います。				
2	・研修やアンケートで取り入れられる部分から、実践していくことができていると思います。				
3	・出来る事は行っていると思います。				
4	・少し古くなった木製のものや錆びた遊具は、心配なところがあります。				
5	・教職員皆で意識していると思う。 ・但し、園内が日々変わる状況の中、その都度、安全確認必要なと思います。(ここで書くことではないのですが)				
6	・危険なのでは?と思うところは、随時バス乗務員さんがすぐに安全に遊べるようにしてくれ、とてもありがたいです。				
7	・園内や園庭などで危険な場所を見つけた時、職員全員で共有してすぐに対応してもらえるので安心です				
8	・今まで決まりや約束を決めて行ってきたので、急に決まり事を少なくし子どもたちで考えて遊ぶというのは危険が多いと感じる事も多い。 ・「なぜ危ないのか、どういう遊び方が危険につながるのか」を子ども自身が考えられるように育むことを目標に取り組んでいきたい。				
9	・何かあればすぐに直したり対応してくれるバスの乗務員さんや渡邊さんがいて、相談にも乗ってくれるので安心しています				
10	・安全・安心に関しては、常に高い意識を持つことが重要です。園舎内外の安全な環境整備や災害対応、けがや健康の配慮、アレルギーへの対応に加え、「爆弾予告」「個人情報の保護(住所、氏名、既往症、アレルギー、特性、所見など)」「虐待」「保護者との関わり(苦情、クレームなど)」「職員の園児に対する不適切な関わり」「いじめ、いやがらせなど園児間のトラブル」についても、些細なことでも「報告・連絡・相談」を徹底し、情報共有をスムーズに行うことで、より安全な環境での保育を実現したいと考えています。				

見解	<p>以下の点が成果として挙げられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教職員の連携による迅速な対応 <ul style="list-style-type: none"> ・園内で危険箇所が見つかる時、職員全員で情報を共有し、すぐに対応できる体制が整っている点は大きな成果です。また、バス乗務員や渡邊さんが常に園内の安全維持をサポートしてくれるため、職員も安心して対応できています。 2. 高い安全意識と徹底した情報共有 <ul style="list-style-type: none"> ・職員が常に安全・安心を意識し、「報告・連絡・相談」の徹底を図り、些細なリスクも見逃さない姿勢が成果として挙げられます。これにより、個人情報の保護や保護者対応など、さまざまな面で安全意識が向上し、保育環境の質を高めています。 3. 研修やアンケートからの改善 <ul style="list-style-type: none"> ・研修やアンケートで得た知見をもとに実践が進められており、日々の保育環境づくりに役立てられています。教職員が学び続け、安全向上に向けた改善を重ねていることも成果です。 4. 安全意識向上を目指した長期的取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちに「なぜ危ないのか」を考えさせるための長期的な教育方針が示されている点も成果です。危険を回避するためのルールづくりを、教職員と子どもと一緒に考えて浸透させていくという目標が共有され、実践が進められています
----	---



No	設問7 経営の重点 〔安心・安全な教育環境〕安全で教育環境の整った園づくり	<div style="text-align: right; margin-bottom: 5px;"> ■ A ■ B ■ C ■ D </div> 
見解	<p>反対に課題として以下の点が挙げられます</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.増改築による環境整備の遅れ <ul style="list-style-type: none"> • 今年増改築の影響で、環境が整わない状況のため、施設全体の安全性に関してさらに整備が必要です。特に、古くなった木製設備や錆びた遊具に対する改善や更新が課題です。 2.園内状況の変化に対応した安全確認の徹底 <ul style="list-style-type: none"> • 園内が日々変化する中で、その都度、安全確認が必要な箇所があることが課題です。増改築の影響も踏まえ、定期的な安全点検とチェックリストの活用などで、常に最新の安全環境を維持する取り組みが求められます。 3.子どもの自主性と安全確保の両立 <ul style="list-style-type: none"> • 子どもたちの自主性を育む活動の中で、安全を保ちながらも、自主的に危険の回避を考えられるような仕組みや教育手法をさらに工夫していくことが求められます。 4.幅広いリスクへの対策強化 <ul style="list-style-type: none"> • 個人情報の保護やいじめ防止など、多岐にわたるリスクに対応するため、職員間でさらなる認識統一が必要です。複雑なリスクへの適切な対策を立て、対応手順を整備することが課題です。 	



No	設問8 経営の重点 〔地域連携と情報発信〕 地域から信頼される園づくり	<div style="text-align: right; margin-bottom: 5px;"> A B C D </div> 
1	<ul style="list-style-type: none"> 来園者が多い印象です。園見学や保護者などに開放的に対応しているため、気になって、来てくださる方も多いのではないかと思います。また、区民センターへ行ったり、近くのお店と協力させていただいたり、地域に根付いているのではないかと感じました。 	
2	<ul style="list-style-type: none"> 回覧板で園だよりが回るのは、近隣住民として清田幼稚園を身近に感じてもらえる効果があると思います。 	
3	<ul style="list-style-type: none"> 保護者には真摯に向き合っていますし、「どんぐりひろば」の開催や「のびのび」を回覧板に入れたり努力していると思います。 	
4	<ul style="list-style-type: none"> のびのび夏祭り、佐藤広大さん、パラリンピック選手や高齢者施設交流等、地域の開かれた園として引き続き連携をしていけたらいいなと思います。 こども園化の情報については、札幌市の補助金に関係していて難しい部分もありましたが、園独自でもう少し早い段階で情報を発信できたら良かったのではないかと感じています。 	
5	<ul style="list-style-type: none"> 夏休みに、たんぽぽの年長児でデイサービスのお祭りに参加させて頂き、地域の方と交流してきました。おじいさんやおばあさんが喜んで、たくさん拍手をしてくださり、良い刺激を受けて来ました。とても良い経験でした。 	
6	<ul style="list-style-type: none"> 園だより『のびのび』で園の情報をしっかり発信してくれている。昨年と変わらず《きよたれんとさん》と交流したり、高齢者交流会をするなど地域とも連携していると思います。 	
7	<ul style="list-style-type: none"> 情報発信や保護者との連携は、先生方の尽力でとても素晴らしいと感じています。ただ、このことが先生方の負担を大きくしていることもあると思います、心苦しい面もあります。 地域連携では、清田小学校や今年是有明小学校とも連携できました。また、夏祭りでの保護者ボランティアの募集だけではなく、遠足等での保護者ボランティアの募集や保護者参加の「こもれびサロン」等の連携も増えてきました。 また、「どんぐりひろば」は、今年も担任の先生方の参加で、盛り上がりました。このように、園の活動に保護者や地域の方を巻き込むことが、幼稚園を開き、地域に信頼され、愛される園になるためにはとても大切なことだと考えています。 	



No	設問8 経営の重点 〔地域連携と情報発信〕 地域から信頼される園づくり	■ A ■ B ■ C ■ D

以下の点が成果として挙げられます。

1. 地域に根差した活動の充実

- 地域施設との交流やイベント参加（例：デイサービスでの交流や地域の夏祭り）を通じて、子どもたちが地域の方と触れ合い、相互理解と親しみが深まっています。これは幼稚園が地域に信頼され、愛される存在になるための基盤として評価されています。

2. 情報発信の工夫と積極的な取り組み

- 回覧板で園だより「のびのび」を配布するほか、各種活動報告を行い、地域住民が幼稚園を身近に感じる工夫がされています。園の情報発信や保護者への真摯な対応により、園の活動が広く伝わり、信頼関係の構築が進んでいる点が成果です。

3. 保護者との連携強化と活動参加の推進

- 保護者ボランティアの積極的な募集（例：遠足や「こもれびサロン」）や、「どんぐりひろば」などの活動を通じて、保護者との信頼関係を深めています。保護者との連携が地域とのつながりの強化にもつながっていることは、大きな成果といえます。

4. 積極的な園見学やイベントの受け入れ

- 園が開放的であるため、多くの来園者が訪れています。これにより、地域や保護者が園の活動をよく理解し、親しみをもちつ機会が増えている点も成果です。

見
解

反対に課題として以下の点が挙げられます。

1. 教職員の負担増加

- 地域連携や情報発信に力を入れているため、教職員の業務負担が大きくなっていることが課題です。地域や保護者との積極的な連携が教職員の負担軽減を考慮しながら続けられるよう、支援体制の強化が必要です。

2. 情報発信のタイミング

- こども園化に関する情報発信が、札幌市の補助金の関係で遅れたことへの反省が挙げられています。

3. 交流機会の拡大と多様化

- 地域連携の活動は充実しているものの、今後さらに多くの地域住民や団体と連携して、より多様な交流機会を設けることが期待されています。また、新しい連携の方法や活動内容を見つける工夫も今後の課題です。

4. 地域連携の一層の強化

- 既存の地域連携の枠にとどまらず、地域住民や他の教育機関（例：清田小学校や有明小学校）との連携をさらに深め、園がより地域社会に貢献できる体制を築くことが今後の課題です。



No	設問9 経営の重点 〔働き方改革の推進〕互いに尊重し合い意欲的に仕事ができる園づくり	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> A B C D </div>
1	・有給も取りやすくなり、より仕事が捗るようになったと思います。	
2	・鍵閉めの先生が18時半になったら全体にインカムをして最後の人が帰るまで待たずに帰れていると思った。	
3	・自分以外の先生方が 今どんな仕事をしてどんな事に困っているのかを少しだけでも意識しながら できる範囲で協力しながら働けたらと思います。	
4	・残って仕事をしている先生、仕事を持ち帰る先生、昼休みも無く仕事をしている先生方を多く見かけます。これでは皆、疲弊していくのではないかと不安に思います。	
5	・認定こども園になって、どのように働く事になるのか、期待と不安がありますが、みんなで協力していきたいです。	
6	・分からないことを教えてくださったり、助けてくださったり、一緒に残ってくださったり、意見をしっかり聞いてくださったり、時には叱ってくださったり、一年目の身としては、ありがたく、とても楽しく働ける職場でした。また、「よし、頑張ろう」と思えるフォローもして下さる先輩方に感謝しています。	
7	・以前より「働き方改革」について意識して考えるようになりました。	
8	・今年職員室がなくなり、これまで以上に「みんなどこで何をしているのか分かりにくくなっているな」と感じます。困っている時、大変な時は声をあげ、助け合えたらいいなと思います。	
9	<ul style="list-style-type: none"> ・少しずつ改善されている面もありますが、まだ先生方、特に担任の先生方の負担や勤務時間の長さがあまり軽減されていないように感じています。このことが、幼稚園の若い有能な先生方の早期退職につながっていると感じています。 ・今後も業務の精選を進める必要がありますが、保育の質を維持するためには限界が近付いているようにも思います。担任の先生方の負担や勤務時間を削減するためには、パート職員や時短常勤職員を含めた複数担任制の導入など、抜本的な改革が必要だと考えています。 	

見解	<p>以下の点が成果として挙げられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 有給休暇取得のしやすさ向上 <ul style="list-style-type: none"> ・有給休暇が取得しやすくなったことで、教職員が休息を取りやすくなり、業務の効率が上がっている点が成果として挙げられます。 2. 業務の効率化 <ul style="list-style-type: none"> ・インカムを活用し、鍵閉めの際に最後の人を待たずに帰宅できるようになったため、無駄な待機時間が減り、業務効率が向上しました。 3. 新人サポートの充実 <ul style="list-style-type: none"> ・経験豊富な先輩が丁寧に教え、フォロー体制がしっかりしているため、新任教員も前向きに働ける環境が整っており、働きやすい職場として評価されています。 4. 働き方改革への意識向上 <ul style="list-style-type: none"> ・教職員全体で「働き方改革」について意識するようになり、負担の軽減や業務効率化について考え始める土壌ができてきたことは、今後の改善につながる基礎として成果といえます。
----	--



No	設問9 経営の重点 〔働き方改革の推進〕互いに尊重し合い意欲的に仕事ができる園づくり	■ A ■ B ■ C ■ D			
		36%	48%	12%	3%

見 解	<p>課題として以下の点が挙げられます。</p>
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教職員の負担軽減と業務時間の削減が不十分 <ul style="list-style-type: none"> • 担任の教職員が依然として長時間勤務を強いられていることが問題視されています。残業や持ち帰り仕事が発生し、休憩も取れない状況があるため、負担軽減と業務の再精査が求められています。 2. 業務分担や協力体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> • 増改築工事の影響で職員室がなくなり、各教職員がどこでどのような業務を行っているかが把握しにくくなっています。助けが必要な時に協力しやすい体制の再構築が課題です。 3. 複数担任制の導入の検討 <ul style="list-style-type: none"> • 若い教職員の早期退職が課題となっており、負担の軽減策としてパート職員や時短常勤職員を含む複数担任制の導入が提案されています。保育の質を保ちながら負担を軽減するため、組織的な支援体制の整備が必要です。 4. 働き方改革に対する支援体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> • 負担が軽減されない教職員がいるため、働き方改革の実効性を高めるにはサポート体制の強化が求められます。業務の優先順位付けと分担体制の見直し、負担を分散できる体制を作ることが課題です。



No.	設問10 《ストロングポイント》 次年度からは認定こども園となる予定です。今後も受け継いでいくべききよた幼稚園のよいところ、つよみ、これからも大切にしていきたいことがありましたら、お書きください。
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ クラス担任以外の先生方も子どもたちをよく見て、連携を取り合っていたり、その子の状況を踏まえて寄り添って関わっていたりするところ。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 四季の変化に気づきやすい今の環境を大切にしたいです。(木やお山など)
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別に特化していることはありませんが、そのぶん一人一人の個性や良さがたくさん活かせるところが素敵だと思います。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人一人を大切に、個々の発達段階を理解することで、子どもたちがのびのびと自分の個性を伸ばしていけるような環境づくりをすることを大切にしていきたい。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・ ここぞという時に 職員全員が同じ目的に向かって力を合わせる事ができるところ。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然とのふれあい。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在のようなメリハリのあり保育時間。 ・ 朝帰りの時間はしっかりと保育者とみんなで顔を合わせて会を行う。朝帰りの会がなくなっている園もある中で、清田幼稚園はここを無くさずに行っていきたい。自由の中にも規律を大切に！
8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然の中でのびのびと遊ぶ
9	<ul style="list-style-type: none"> ・ のびのびと遊ぶ、その一つとして自然豊かな部分、自然を活かせるものは続いていけばなぁと思います。
10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広い園庭（来年からは狭くなりますが）、四季の移り変わりが明確な恵まれた自然は、大切にしたいです。
11	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園児一人一人への温かな声掛けや細やかな関わり。
12	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有給のとりやすさ。
13	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然との関わりの中でのびのびと活動できるのはきよた幼稚園の良いところだと思います。
14	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員全員が子どものことがわかり、園全体で子どもたちのことを見守っているところ。 ・ 自然豊かな環境で四季を感じながらあそべるところ。
15	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新任からベテランの先生まで層が幅広く、多様な視点で保育を行っていると思います。一人一人の個性や得意分野をもっと発揮できる園になっていたらよいなと思います。
16	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先生と子どもが近く、家庭的で温かみがある。
17	<ul style="list-style-type: none"> ・ 素早い先生方の連携。 ・ 「これで良い」ではなく、より良くできるのではないかと、考え続けられる環境。(会議・研究発表など)
18	<ul style="list-style-type: none"> ・ かつて子どもたちによく伝えていた、人の話をきちんと聞く、そして考え、自分の思いを伝える事、人の気持ちを思いやる心を持つことなどを大切に、先生と子どもたちとで有意義な楽しい幼稚園生活を作っていけるといいですね。
19	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育者一人一人が子どものことをしっかりと見守り、困ったことがあったら直ぐに連絡し合い、共有できていること。 ・ 自然に囲まれ、四季を感じられるところ！
19	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「のびのびとあそびまなぶ」の中に生活のメリハリを大切にしていきたい。



No.	<p>設問10 《ストロングポイント》 次年度からは認定こども園となる予定です。今後も受け継いでいくべききよた幼稚園のよいところ、つよみ、これからも大切にしていきたいことがありましたら、お書きください。</p>
20	<ul style="list-style-type: none"> • 私自身の子どもを入園させるにあたり、綺麗で清潔な園舎、広くてのびのびと遊べる園庭、先生方の笑顔と温かい言葉かけや挨拶、自然に触れられる外での活動(清田公園や遊歩道での散歩、マオイホースパークの乗馬体験、どろんこ遊び等)がとても魅力的で入園させました。実際に職員として働きはじめ、先生方は変わってるものの、幼稚園が今も変わらずにあった事に嬉しさを感じました。その良さはこれからも受け継いでいけると良いと思います。 • 特にどろんこ遊びは、親として公園で遊ばせるには避けてしまいがちですが、幼稚園だからこそ思いっきり遊ばせてあげられる活動だと思います。そこから得られる想像力(どんな物を作ろうか)、考える力(どうやったらそれが作れるか)があると思います。以前はプリンカップを一人一つ持参し、自分だけの泥団子を作ったりしていたのでそういう活動も復活出来たら良いのかなと思います。「のびのびとあそびまなぶ」の姿に繋がっていくものだと思うので、これからも大切にしていきたい所だと思います。
21	<ul style="list-style-type: none"> • 元気で心の優しい子どもに育つ様に、生き物や自然にふれあう機会は今まで通り大切にしていきたいです。
22	<ul style="list-style-type: none"> • 自然がたくさんのお山遊びはこれからも残って欲しいです。
23	<ul style="list-style-type: none"> • のびのびとした雰囲気、何事にも臨機応変に対応していける場所。
24	<ul style="list-style-type: none"> • 自然をいかした保育。 • 個別の支援を要する子への配慮。
25	<ul style="list-style-type: none"> • 勉強中心ではない個々を大切にしたいのびのびとした保育。 • 先生たちの素晴らしい連携。
26	<ul style="list-style-type: none"> • 当園のよさは、それぞれの職員が自分の持ち場の中で責任をもって一生懸命仕事をしていることだと思います。特に今年は認定こども園化という例年以上の業務負担がある中、渡邊さんやバス乗務員さんは早朝から様々な環境整備を行ってくれています。また、妙子さんも毎日遅くまで清掃をしたり、野菜の収穫や球根を植えるための畑づくりなどの仕事に精を出してくれています。このような方々に支えられて、先生方もそれぞれ使命感をもっと職責を果たそうとしていることが、きよた幼稚園のストロングポイントだと思います。



No.	<p>設問10 《ストロングポイント》 次年度からは認定こども園となる予定です。今後も受け継いでいくべききよた幼稚園のよいところ、つよみ、これからも大切にしていきたいことがありましたら、お書きください。</p>
見解	<p>幼稚園のストロングポイント</p> <p>1.教職員全体の連携とサポート体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担任以外の教職員も子どもたちをよく見守り、状況に応じて連携して対応する体制が整っている。 ・職員全員が協力し、共通の目的に向かって力を合わせる姿勢がある。 ・新任からベテランまで多様な視点で保育に取り組み、個々の得意分野を発揮しやすい環境である。 <p>2.自然環境を活かしたのびのびとした保育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四季の変化を感じられる自然豊かな環境で、園庭やお山遊び、泥んこ遊びなどの活動を大切にしている。 ・自然との触れ合いを通じて、子どもたちが考える力や想像力を育むことを重視している。 <p>3.一人一人を大切にする個性重視の保育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々の発達段階を理解し、子どもたちが自分の個性を伸ばすことができる環境づくりをしている。 ・教育を通じて、子どもたちが思いやりや協調性を育むことを大切にしている。 <p>4.規律と自由を両立させた保育方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝や帰りの会など、みんなで顔を合わせる時間を大切に、規律を持ちながらのびのびとした保育を実践している。 <p>5.自由な遊びの中にも生活のメリハリを意識した保育が特徴です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の柔軟な対応と温かい雰囲気。 ・家庭的で温かみのある関わりがあり、先生と子どもが近く、安心して過ごせる環境。 ・臨機応変な対応力があり、常に改善を目指して考える文化がある。 <p>6.地域との交流と支援スタッフの貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域交流や環境整備の面でバス乗務員等の職員の協力がある。



No.	設問11 《ウィークポイント》 次年度からの認定こども園化に向けて、これを機によくしていきたいこと、改善していきたいことがありましたら、お書きください。
1	<ul style="list-style-type: none"> • 帰宅時間が少しでも早くなるようにしてほしい。
2	<ul style="list-style-type: none"> • 少しでも休憩と思える時間を確保していただきたいです。
3	<ul style="list-style-type: none"> • 行事の見直し(特に運動会と発表会)
4	<ul style="list-style-type: none"> • 今まで以上に、子どもたちものびのびと、そして先生たちものびのびとできたらと思います。
5	<ul style="list-style-type: none"> • 自由遊びの設備の改善。お片付けがしやすい小屋や棚があったらいいなと思います。
6	<ul style="list-style-type: none"> • もう少し子どもが夢中になれる園全体の環境構成。
7	<ul style="list-style-type: none"> • インカムで情報共有できるよう便利になった一方で「自分で対応すべきか、頼んだ方がよいか」の優先度を考えてから発信してほしいなど感じる場面もあります。園舎内のフリーの先生が常に多忙な印象を受けます。 • また、他園の視察報告会で「先生が大きな声を出していない」という意見が何人かの先生から出ていましたが（私もつい大きな声で否定的な言葉が出てしましますが）どうしたら子どもたちが廊下を走らないのか…他園ではあえてテーブルを置いたり工夫をしているようなので、みんなで話し合う機会があると良いなと思います。
8	<ul style="list-style-type: none"> • おそらく来年度からは今より職員の数が増えると思うので、今まで以上に情報共有をしっかりと行うことが重要だと思います。
9	<ul style="list-style-type: none"> • 職員の人数も増えると思うので、さらなる情報共有の徹底。
10	<ul style="list-style-type: none"> • 先生方とのコミュニケーション。職員が多くなると関わりの少ない先生方が出てくるので。
11	<ul style="list-style-type: none"> • インカムなど情報共有できるものが増えましたが、インカムをつけていない先生に伝わりづらいところもあるので乳児部・幼児部と動きが変わる分、全員に伝わるようになればなあとと思います。
12	<ul style="list-style-type: none"> • 勤務時間や場所も異なる教職員が増える中で、teamsでの情報共有をより意識していかななくてはと思う（担当以外・勤務時間以外の情報も、意識して共有する）
13	<ul style="list-style-type: none"> • 職員の人数が増えると連携が取りにくくなるのではと感じる。ますます周りをよく見て、お互いを思いやり、声をかけ合わないといけないなあとと思う。
14	<ul style="list-style-type: none"> • 幼稚園部と保育園部に分かれるので、情報共有に気をつけていきたい



No.	<p>設問11 《ウィークポイント》 次年度からの認定こども園化に向けて、これを機によくしていきたいこと、改善していきたいことがありましたら、お書きください。</p>
見 解	<p>ウィークポイントや懸念される点として以下のことが挙げられました</p> <p>1.教職員の労働環境と休憩時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帰宅時間を早める工夫や、休憩時間の確保が必要。負担軽減が急務である。 <p>2.行事や設備の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動会や発表会などの行事の在り方を見直し、業務負担を軽減する。 ・自由遊びのための設備の改善（片付けがしやすい小屋や棚）の設備を作る。 <p>3.子どもが集中できる環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが夢中になれる園全体の環境づくりが必要。廊下の正しい歩き方についても指導が必要。 <p>4.情報共有の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インカムの使用で情報共有が進む一方、対応の優先度や発信方法に工夫必要。 ・職員の人数増加に伴い、特にTeamsを通じた連携や情報共有を徹底することが必要。 <p>5.職員間の連携とコミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定こども園化に向け教職員の人数が増えることで関わりの少ない先生が出てくる懸念がある。さらに連携を強め、互いの状況を理解し合う必要がある。 <p>6.認定こども園化に向け、保育園部と幼稚園部ができるので、職員の連携と協力体制の構築が課題。</p>

